

# One Purpose

FOR BETTER COMMUNICATION

同志社大学通信  
DOSHISHA UNIVERSITY



192

2017 October

同志社人訪問

映画監督

東條 政利さんに聞く

特集

科学する  
ガールズの  
新時代

COVER INTERVIEW

My Purpose 挑戦する人

# CONTENTS 2017 October No.192

2

特集

## 科学する ガールズの 新時代



7

## Seminar ～ゼミ探訪 学びの時間～

商学部 高橋 広行ゼミ



9

## 同志社の研究は今

南シナ海研究センター  
センター長 浅野 亮 (法学部政治学科教授)

11

## 2016年度 大学決算について

13

## 同志社校友会

15

## CAMPUS NEWS

2017年度春学期外国語 honors 認定書授与式 / 鈴木大地スポーツ庁長官が来学 /  
企画展「新島襄が感じた地球」の来場者数が1万人を突破 /  
2017年度 卒業式・学位授与式 (学部・大学院) / 2018年度 入学式 (学部・大学院) /  
2017年度クリスマス・イルミネーション点灯式 / 新任教員紹介 / 本学教員の執筆図書紹介 /  
2017年度プロジェクト科目春学期成果報告会 /  
「第2回サイエンスコミュニケーター養成副専攻講演会」開催

20

## INTERVIEW ～同志社人訪問～

映画監督 ■「地の塩 山室軍平」  
東條 政利さんに聞く



23

## My Job, My Life ～私と「仕事」～

三谷 祐子さん (2003年 文学部文化学科文化史学専攻卒業)  
山田 裕志さん (2014年 理工学研究科数理環境科学専攻修了)

25

## ANNOUNCEMENT

27

## COVER INTERVIEW My Purpose ～挑戦する人～

富田 紗代さん (政策学部 2年次生)



### ご意見・情報を募集

「One Purpose」は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。  
どうぞお気軽にご意見・情報を広報課までお寄せください。

◆ 特集 ◆

# 科学する ガールズの 新時代



さあ、新しい時代の  
扉を開こう！

## New Era of Science Girls



先端科学の第一線で活躍する女性研究者・エンジニアへの期待が高まっています。  
しかし、その人数は世界各国と比べてまだ少なく、女子の理系進学率も高くはありません。

女子中高生の理系選択をサポートするために、

本学では昨年度から「科学するガールズ」養成プログラムを展開。

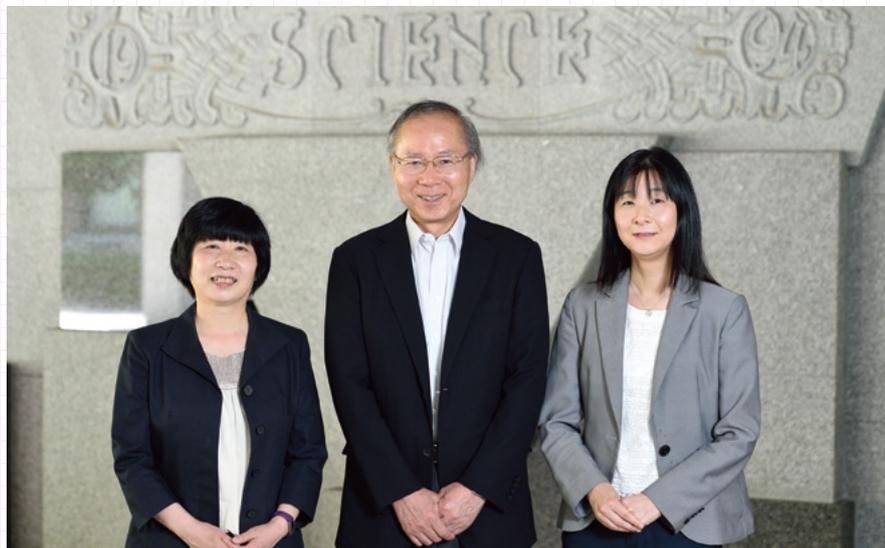
すでに数多くの学生が「科学の魅力」を実感し、「科学するガールズ」を目指しています。

★ 特集 ★

# 科学する ガールズの 新時代

鼎談

## 次代を担う「科学するガールズ」への取り組み



### 予想を大きく上回る成果 アンケート結果も大好評

——「科学するガールズ」養成プログラムの概要と目的を教えてください。

**林田** この取り組みは、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 「平成 28 年度女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の支援を受けて、理工学部を中心に生命医科学部と文化情報学部が協力し、昨年度から実施しています。その背景には、諸外国と比較して日本の女性研究者・エンジニアが少数 (14.7% : 2015 年 3 月末時点・総務省 科学技術研究調査報告) であり、特に物理をベースとする情報、電気・電子、機械、環境系分野は少ないという実情があります。このような状況を踏まえて、日本の先進テクノロジーの次代を担う「科学するガールズ」を社会に送り出すために、女子中高生の理系進路選択を支援する様々な取り組みを積極的に推進しています。「物理」「グローバル」をキーワードとし、関西文化学術研究都市推進機構、オムロン株式会社、IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers : 国際電気電子学会) 関西支部 WIE (Women in Engineering)、科学教育研究協議会京都支部とも多角的に連

携した事業です。

**松川** このプログラムを実施している中で実感したのは、小学生の頃には理科が好きだったのに、様々な理由で次第に興味が薄れたり、進路として理系を選ぶのは難しいと感じる女子中高生が多いということです。「理系を選択するのは少数派で、何となく肩身が狭かったけれど、この養成プログラムで同じ志望を抱く数多くの女子の仲間に出会えて嬉しかった」という声も聞きました。これは、「科学するガールズ」を養成していく上で、非常に重要なポイントではないでしょうか。その思いに深く寄り添い、彼女たちを育み導くのも私たちの務めと考えています。

**荒木** 私は IEEE 関西支部 WIE 代表として理系に進まれた女子大生の方々の日々の学びや卒業後のキャリアアップを支援しています。このバックボーンである IEEE は電気・電子分野における世界的な学会で、活動の一環として後継者育成をサポートする組織があり、その中の特に女性のエンジニアを支援する仕事に携わっています。日本の未来を切り拓く科学技術を伸展させるためには、卓越した研究者・エンジニアが不可欠です。超高齢者社会と人口減少の中で、理系分野でも女性が担うべき役割は拡大し続けています。次代に向けた取り組みである「科学するガールズ」養成プログラムが大きな成果を上げることを願っています。この分野を目指す女子中高生に、迷いなく挑める道を示し、その歩みを支え、見守りたいと思っています。

——昨年、初めて本事業を実施されたのですが、その実感を聞かせてください。

**林田** 2泊3日の夏休み合宿「ガールズサイエンスキャンプ」を中心に、関西地区の中学校・高校を本学の理系教員と女子学生が訪問して講義や実験を



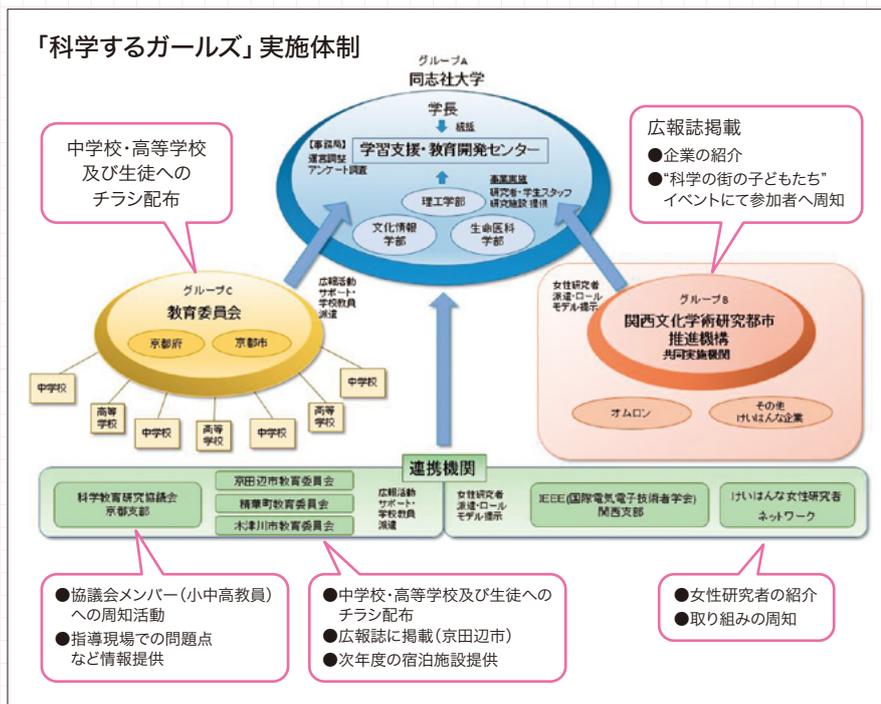
理工学部長  
はやしだ あきら  
**林田 明**



理工学部電気工学科教授  
まつかわ まみ  
**松川 真美**



NTT コミュニケーション科学基礎研究所  
主任研究員  
IEEE (国際電気電子学会) 関西支部  
WIE (Women in Engineering) 代表  
あらい しょうこ  
**荒木 章子**



います。関西文化学術研究都市の企業研究所見学では、弊研究所の女性研究員4人が参加し、女子中高生と交流することができました。その中には同志社高校で学んだ研究員もあり、一気に距離が縮まった感じでした。各自が様々なお話をしたのですが、「なぜ、理系を選んだのか…」といった部分は、特に学生たちの心を捉えたようです。また、理系女子といっても特別な人ではないということを実感してもらえたのも良かった。ちなみに私は、これまでに自分が参加した国際会議の開催国を世界地図に表示し、「科学するガールズは国際的にも活躍できますよ(笑)」とアピールしました。どのような糸口からでも良いので、まず興味を抱いてもらえればと願っています。

### 多彩な体験が養成の要 中高の先生との連携も強化

——本養成プログラムの今後の展望や期待を聞かせてください。

**林田** 非常に効果的な取り組みであり、さらに充実させたいと考えています。私が問いたいのは、女子中高生が自らの進路として文系か理系かを選択する時、本当にどこまでのことがわかっているのかということです。この観点からも、実際に多彩な体験ができるこのプログラムは素晴らしい。将来的には男子中高生にも同様の機会を設け、彼らにも「理系の面白さ」を実感してほしいと願っています。そのために、今後に向けて「高大の連携」の強化も重要です。

**松川** このプログラムをさらに充実させるために、中高の先生方とのコラボレーション企画も深めたいと考えています。まだ、女子中高生の理系選択には本人の興味や意思以外に「壁」があるようにも感じています。皆様と共に、この状況を改善したいと願っています。

**荒木** 最近、企業も理系女子の採用に力を注いでいます。将来的に、現在のような女性に特化した取り組みの必要性がなくなることが私の理想です。

行う「出前講義」、本学の設備や装置を用いて女子中高生が研究・実験を試みる「ガールズラボ」、保護者の皆様や教員の方々を対象にした「ガールズリーダー交流会」を実施しました。企画の段階から多彩なアイデア提案が活発に生まれましたが、とにかく初めての取り組みなので、手探りの状態の中で推し進め、臨機応変に対応してきました。それだけに、本学の教職員、学外の関係者の方々にはご負担をおかけしたと思いますが、そのおかげで予想を上回る成果を上げることができました。特に「ガールズサイエンスキャンプ」の参加者数や「出前講義」の実施回数は、当初の想定を大幅に超え、各アンケートでも高い評価を得ることができました。また、「ガールズサイエンスキャンプ」では参加した女子中高生同士が交流を深め、互いに実り多い時間を過ごすことができたという「声」も数多くあり、その点でも有意義な機会を創出できたと思っています。さらに、「ガールズリーダー交流会」では理系進学をテーマにした活発な質疑応答なども行われ、保護者の皆様や教員の方々に理解を深めていただく好機になったと考えています。

**松川** 何よりも心配したのは、実際に

どの程度の応募があるのか、ということでした。結果的に養成プログラムの中核を担う「ガールズサイエンスキャンプ」を始めとして大半の事業で当初設定した目標値を上回ることができ、初年度にも関わらず充実したプログラムとなりました。「出前講義」や「ガールズラボ」を「ガールズサイエンスキャンプ」の前後に配し、相乗効果を図った試みも、思惑以上に効果があったと感じています。キャンプでは本学で学んでいる理系女子留学生との交流会や、海外で活躍しているOGの女性技術者とのインターネットによるリアルタイム懇談などを通じて、参加した生徒の皆さんは「科学するガールズ」の魅力を実感し、「理系のグローバル化」と「英語力の必要性」などに思いを馳せたのではないのでしょうか。本プログラムでは科学教育研究協議会の同志社中学校・高等学校山崎敏昭先生に、中高の現場から有益なアドバイスをいただきました。また、京都府や京都市、各市町の教育委員会と、多くのOGの皆様の御協力も大きな支えとなりました。

**荒木** 特に「ガールズサイエンスキャンプ」は、「理系の魅力」を間近で感じてもらえる素晴らしい取り組みだと思

★ 特集 ★  
**科学する  
 ガールズの  
 新時代**

EVENT GUIDE

**「科学するガールズ」イベントガイド**

2016年度は中高女子生徒、教員、保護者の方々を合わせて377人が参加。  
 特に出前講義、2泊3日のガールズサイエンスキャンプの参加者数は  
 計画を大幅に上回り、アンケート結果でも大好評でした。

EVENT GUIDE 1

中学校・高校で興味深い講義や実験を行う

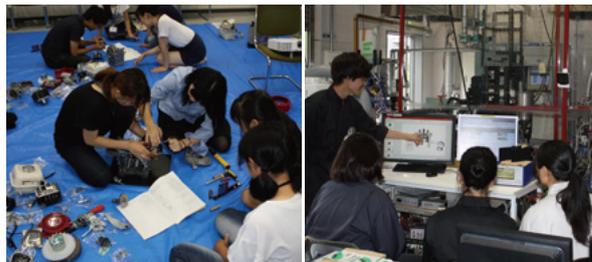


**出前講義**

科学に対する関心を高めってもらうために、関西地区の中学・高校を本学の理系教員と女子学生が訪問。身の回りのわかりやすい題材をテーマにした興味深い講義や実験を行っています。また、アシスタントとして参加してもらっている理系の現役女子学生のはつらつとした姿も、受講した女子生徒たちが「身近な将来像」をイメージするのに役立ち、親近感の湧く交流が実現しています。

EVENT GUIDE 2

「理系の魅力」を実感する夏休み合宿



**ガールズサイエンスキャンプ**

理系女子の先輩たちと共に「科学の楽しさを再発見」する2泊3日の夏休み合宿です。留学生、女性研究者・エンジニアとの交流の中で「理系の魅力」を実感し、グループに分かれて本格的な実験に挑戦。2016年度は、けいはんな学研都市のNTTコミュニケーション科学基礎研究所、オムロン株式会社京阪奈イノベーションセンターを見学、2017年度は、株式会社椿本チエイン京田辺工場を見学しました。

EVENT GUIDE 3

本学で女子生徒が希望する実験に挑む

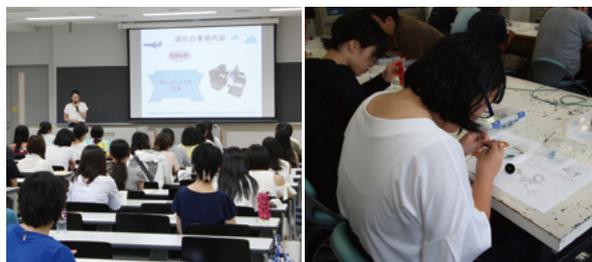


**ガールズラボ**

女子中高生が希望する研究・実験を本学の理系教員や女子大学院生の的確なサポートの下で、本学の先進の設備や装置などを用いて行うプロジェクトです。このガールズラボによって教科書などに記載されている公式や定理がどのように応用され、最先端の研究・実験に生かされているのかも実感でき、参加した女子生徒が「科学するガールズ」を本格的に目指す契機になっています。

EVENT GUIDE 4

保護者や中高教員を対象にした懇談会



**ガールズリーダー交流会**

女子中高生の保護者や教員の方々を対象にした交流会です。京田辺キャンパスの実験室の見学、理系進学や理系の楽しさなどをテーマにした女性研究者・エンジニアの体験談、本学の教員や理系女子学生との意見交換などを実施しています。会場では、女子生徒の理系選択についての様々な質問が相次ぎ、「科学するガールズ」の養成に向けて大きな後ろ盾になっています。

国立研究開発法人科学技術振興機構  
 平成28年度女子中高生の  
 理系進路選択支援プログラム

同志社大学提供  
**「科学するガールズ」  
 理系女子支援サイト**

<https://kagaku-girls.com>



この支援サイトでは「物理の楽しさ」をキーワードに科学の奥深さ、面白さを体感できる多彩な交流イベントなどを提供。「科学するガールズ」に少しでも興味があればこのプログラムに参加してあなたの視野を広げてみませんか。女子中高生の保護者や教員の方々に理系進学の応援サポーターとしてご活躍いただくことも、このプログラムの大切な目的です。積極的なご応募を心からお待ちしています。

## 夢に挑む同志社「科学するガールズ」

本学では数多くの理系女子が、それぞれの夢に邁進しています。  
「科学するガールズ」の前に広がる限りない未来を  
特集インタビューで実感してください。



### 「ガールズサイエンスキャンプ」は理系選択の大きな後押しになる

理系に関心を抱ききっかけになったのは、同志社高校の学生を対象にした理工学部の説明会でした。「リケジョ」の先輩のお話を聞き、各分野の研究室も見学しました。「理工学部には多彩な学科があるんだ!」というのが、その時の実感です。その後、「ガールズサイエンスキャンプ」にも参加しました。2泊3日のスケジュールの中に、実に様々な内容が組み込

まれており、いずれも興味深いのですが、特に面白かったのは関西文化学術研究都市内企業・施設の見学でした。理系選択で不安を抱いている女子は少なくないと思いますが、この分野に関心があれば、迷わず飛び込んでみることをお勧めします。「ガールズサイエンスキャンプ」にもぜひ参加してほしい。決断の大きな後押しになると思います。

たかすしおり  
**高須 史織**さん 理工学部エネルギー機械工学科 1年次生

### 毎日課題に追われていますが、非常に充実した学びの日々

5歳から10歳までドイツに住んでいました。ドイツの小学校は生徒の自主性を大切にしています。このような教育環境が私の好きな分野だった理数への関心を、自然なかたちで育ててくれました。具体的に「理系に進もう!」と思うようになったのは、高校1年生の頃です。担任が化学の先生で、その授業が本当に面白かったからです。機能分子・生命化学

科を選んだのは、化学と、自身が双子だったという関係で関心のあった遺伝子の両分野を探究できる学科だったからです。「ガールズサイエンスキャンプ」は、進路決定の最終確認に役立ちました。特に印象深かったのは研究室の見学です。ワクワクしました(笑)。現在は毎日課題に追われていますが、非常に充実した学びの日々を過ごしています。

はたに ゆり  
**畑谷 侑里**さん 理工学部機能分子・生命化学科 1年次生



### 大好きだから、迷わず選んだ。それが何よりも大切なポイント

中学校の理科の授業の中でも「物理の分野」が大好きでした。「こんなに楽しい勉強があるんだ!」と感激し、理系に進みたいと思うようになりました。高校2年生の時に、現在の「科学するガールズ」養成プログラムの前身となる企画があり、理工学部への関心が高まりました。化学システム創成工学科に進むことを最終的に選択したのは、昨年実施された「ガールズサイエンスキャンプ」に参加した後

です。色々迷ったのですが、「物理も高校で好きになった化学も本格的に学びたい!」と考えて双方を探究できる本学科に進学しました。実は化学の成績は物理に比べてあまり芳しいものではなくて、「化学に進んで大丈夫?…」と母親は心配していました。でも、本当に学んでみたいと確信できた分野なので決めました。これが選択の何よりも大切なポイントだと確信しています。

はたに みく  
**畑谷 実玖**さん 理工学部化学システム創成工学科 1年次生





ゼミナール

# Seminar

ゼミ探訪学びの時間

たか はし ひろ ゆき

商学部 高橋 広行ゼミ【商学部准教授】

## 消費者行動論に基づく ブランド・マーケティング戦略を学び 10年後には社会の第一線に立ち 次代に貢献する仕事を

常に現場に寄り添い  
解決すべき課題を見出す

**消** 費者がブランドを「どのように認知し、理解しているのか」を解明し、競争優位性を高めるブランド・マーケティング戦略を構築する。これが高橋広行准教授の研究テーマである。その対象はメーカーのブランドから地域ブランド研究、小売企業ブランド研究など多岐に及ぶ。「ブランド・マーケティングでは、現場に寄り添い、現状を五感で捉えることが何よりも重要です。これが消費者行動を的確に読み解き、解決すべき課題を見出す起点になります。そのために、本ゼミでは企業とのコラボレーションによる実践

的なマーケティング戦略の立案を重視しています」。高橋准教授は大学卒業後、洋菓子の製造小売企業でメニュー開発や店舗運営、広告制作会社のクリエイティブ・マネージャー、マーケティング専門会社でマーケティング戦略のコンサルティング、外資系リサーチ会社ではリサーチ・マネージャー、データ・アナリストなどを務めてきた。「現場に重きを置く」という鉄則は、これらの多彩で長期にわたる実務経験から得たものである。

高橋ゼミは2年次の秋学期から始まる。これに先立つ夏休みに、消費者行動、ブランド、マーケティング関連の書籍を1冊自ら選んで精読し、その内容を要約。これを本ゼミで発表し、

全員で討議し、理解を深める。3年次は過去のヒット商品やブランディングの事例を取り上げ、成功要因を分析しながらコラボレーション企業への企画提案を行う。4年次は仮説検証型の研究を前提にした卒業論文を執筆し、「自らが立てた仮説を検証することの大切さ」を学ぶ。

「本ゼミはグループ単位での発表(プレゼンテーション)と、議論(ディスカッション)を中心に組み立てています。チーム内で互いに切磋琢磨しながら課題に挑み、企業に向けた実践的な企画で説得力のあるロジックの組み立て方などを学び、確かな成果をあげることが、大きな成長につながるのです。特に高めて欲しいのは、自分の意見を明確に表現し、相手を説得する能力。自らの視点で課題を解決し、他者を巻き込みながら成果を出す技量です」。10年後には社会の第一線で活躍し、際立つ仕事で次代に貢献する逸材を育む。これが高橋准教授の目標である。



取材当日に発表されたのは、250余年の歴史を誇る中野伊助の京念珠と老舗呉服店・近江屋の草履をテーマにした新商品企画である。現状の課題や目標などを提示した後、まず20~30代の女性観光客をターゲットにしたカジュアルタイプの提案が行われた。A案は「白狐×草履」。外国人の日本観光スポットランキングで3年連続1位の伏見稲荷大社の「白狐」に着目し、その顔をデザイン化。目の部分に京念珠(黒オニキス)を用いている、愛らしい表情が特徴である。伏見稲荷周辺を拠点にした着物とのセットレンタルを主眼に考えている。B案は「兎×草履」。この後、質疑応答、アンケートを経てディスカッションに入る。予め4組に分けられた各グループから続々と新たな発想や意見が投げかけられ、ゼミは熱気に包まれていく。ゼミ生全

グループワークを通して実践的にマーケティングが学べ、とても充実した時間を過ごせています。仲間とともに議論し、考えをカタチにできることの楽しさを感じています。

3年次生 原口 将太郎さん

全員が真摯に取り組み、互いに高め合い、確実に成長している。心から誇りに思えるゼミであり、最も充実した時を過ごしています。

3年次生 庄路 日和(しょうじ ひより)さん

困難な課題であっても、最後まで仲間と力を合わせて頑張り、成果を出す力が鍛えられたと感じています。刺激に満ちた最高のゼミです。

3年次生 樽 真央(たる まお)さん

このゼミに入ったおかげで、大学生活の中で頑張ったことを、胸を張って言えるようになりました。最高の先生と仲間とのゼミ活動は、生涯の宝物です。

3年次生 小森 涼太さん

消費者行動論に基づく企業分析、企業に向けたプレゼンテーション、白熱するグループディスカッション…。すべてが自身の成長の大きな糧になっています。

3年次生 三宅 智大さん

員が主体的に立案に参画し、積極的に新たな企画を生み出そうとしている姿勢が印象的である。続けて、後半は高級路線タイプ3案が提示された。



## 企業に向けた企画提案で実践力を鍛え抜く

**高** 橋ゼミに現在所属しているゼミ生は、4年次生が23人(男性9人・女性14人)、3年次生が21人(男性9人・女性12人)である。

3年次生の小森涼太さんは「メーカーに就職し、ヒット商品を生み出し、人々の生活に貢献したい」という明確な目標を持っている。本ゼミを選択したのは、コラボレーションしている企業に向けた企画提案を通じて非常に実践的なマーケティングが学べると判断したからである。「予想していた以上に企業の方々と接する機会に恵まれ、プレゼンテーションを繰り返す中で、アイデアを裏づける理論の構築やデータの抽出なども緻密になり、実力を鍛えるのに役立っています」。現在、小森さんはチームリーダーを務めているが、それぞれの異なる能力を最大限に引き出すことによって、さらに優れた立案ができることも実感している。

3年次生の三宅智大さんがマーケティングに関心を抱くようになったきっかけは、中学生の頃から打ち込んできたテニスだった。ある日、「なぜ、自分は同じブランドにこだわるのか…」と、自問していた時に、高橋ゼミの概要にあった「なぜ、Aさんはあのブランドではなく、このブランドを選ぶのか…」というキーワードに出会い、迷うことなく本ゼミの面接を受けたという。「高橋先生のゼミは非常に人気が高いのですが、思い切って挑戦しました。無事に面接をクリアして所属できた時は本当に嬉しかった。一人ひとりが、志を高く持ち、個性が際立っています。しかも、すごく気が合う。そんな刺激に満ちた環境が成長を促してくれています」。

「高校時代から商業に強い関心を抱き、高校1年生の頃から被災地復興のための商品開発を手がけ、3年生の時にはリーダーも務めた。その時からマーケティングを本格的に学びたいと思うようになった」と語るのは3年次生の樽真央さん。「二つの理由から本ゼミを選びました。一つは座学が主体ではなく、実践的でアウトプットできるゼミだと思ったからです。もう一つは大学においてゼミは一番の学びの場だと考えており、私に合ったメリハリのある雰囲気の中で全力を尽くせるのは高橋ゼミだと直感したからです」。本ゼミならではの貴重な知識と経験を得ることができ、企業の方々と深く関

わる中で、社会人としての基礎力も培われているという。

理系科目が得意だったという原口将太郎さんが商学部を選択したのは、研究職ではなく、メーカーでマーケティングなどの仕事に就きたいと考えたからである。本ゼミに所属したのは、優れた実践力を養い、実際に自らのアイデアを具現化したかったからだという。「高橋先生はキャリアも人脈も多彩で、すごいと思います。だから、説得力も抜群です。大学生の時に企業とコラボレーションしながら、数多くのことを学べるのは素晴らしい。たとえば、丸亀製麺の成功事例など先輩方の成果の数々も大きな励みになります」。3年次生の今はマーケティングの勉強で精一杯であるが、将来的には理系の視点なども企画に組み込めるようになりたいと語る。

「是非でも本ゼミに所属したいと思うようになったのは、先輩のゼミ生の方々の企業と連携した商品開発の実績を知ってからです。自分たちが考えたものが実際に商品化され、それを選んでくれたユーザーが喜んでる姿を見ることができるという経験は貴重です」と、応募時を振り返るのは3年次生の庄路日和さん。マーケティングの根幹は、新たな価値を求めている企業や人々に最適なものを届けることだと考えており、希望している分野は今後さらに需要が高まると予測される飲料メーカーや発信力で人々の日々を尽くせると思うメディア業界である。

## 緊迫する南シナ海問題は米中対立を象徴する場 国際的観点から世界秩序の変動のメカニズムを探る

南シナ海問題は激化しており、その紛争は東南アジア地域だけではなく、日本はもとより世界各国にも多大な影響を及ぼす可能性がある。南シナ海研究センターでは、海域諸国の領有権争いが米中対立の象徴的な場となっているという鳥瞰的な視点から捉え、世界秩序の変動のメカニズムを解明していきたいと考えている。そのために、本研究センターでは海洋法、国際紛争処理法、安全保障、地域主義、地理学、各国政治などの専門家を結集した研究体制を構築し、包括的なアプローチによる探究を推し進めている。

### 南シナ海研究センター

あさのりょう  
センター長 **浅野 亮**

【法学部政治学科教授】

1979年国際基督教大学大学院行政学研究科修了、1982年香港中文大学アジア研究課程修了。少年時代から世界の動向に強い関心を抱く。国際政治に多角的な視点からアプローチする姿勢は、その頃、音楽、絵画、書などを自在に融合して作品を創造していた音楽家に接する中で培われたと振り返る。オフタイムは埋もれたクラシックの傑作や民族音楽などを見出し、楽しんでいる。



## 世界的な視点から問題の根幹を探究

中国は「九段線」と称する境界線を根拠に、南シナ海のほぼ全域の管轄権を主張している。これは自国の歴史を背景にした独自の見解であり、これに対して他国は強く反発している。例えば、フィリピンは国際的な仲裁裁判所に提訴し、2016年7月に「法的な根拠がなく、国際法に違反する」という判断が示されたが、中国はこの判決を受け入れていない。「南シナ海は中国本土南部、インドシナ半島、ボルネオ、フィリピン諸島、台湾に囲まれた広大な海域です。現在、二国間外交、地域の多国間制度、国連海洋法条約などを通じた権益確保のための争いが多発しています。中国が人工島を造成し、軍事的な威嚇を拡大させているのは、南シナ海が海上交易の要衝であり、海底には膨大な量の原油や天然ガスが存在している可能性もあるからです。また、造成工事が公共事業として地方の経済の振興に役立つという側面もあります。ベトナムやフィリピンも人工島を建設していますが、規模が全く違う。ここで、注視しなければならないのは、これらの紛争が中国、台湾、ベトナム、フィリピン、ブルネイなどの周辺諸国・地域に限定したものではないということです。昨今の激しい米中対立に象徴されるように、すでに世界的な問題となっており、最近では欧州も強い関心を抱き始めています」。世界各国の様々な思惑も交錯している状況下では、グローバルな視点からアプローチしなければ、南シナ海問題の根幹を的確に把握し、次代を明確に見通すことはできないと、浅野亮センター長は指摘する。

## 米中対立は激化し経済は相互に依存

南シナ海の領有権に関してアメリカは、海洋法に関する国際連合条約を規範とすべきであると主張し、中国の人工島造成を厳しく批判。アメリカ海軍の艦艇などを中国が想定している主権海域で航行させる「航行の自由」作戦を展開している。「なぜ、アメリカはこのような主張し、行動を起こすのか。その真意を読み解くことが何よりも重要だと私は考えています。『航行の自由』を守り、秩序を保持する。これによってアメリカは、自国の権力

を堅持し、中国の影響を排除したい。すなわち、目的は国益であると、私は捉えています。しかも、米中は激しい罅迫り合いを繰り返しながら、両国経済の相互依存は強まっている。アメリカ商務省のデータでも双方ともに輸出額は増加傾向を示しています。つまり、抜き差しならない状態に陥っているわけです。この相反する問題を抱えながら、これからも『灰色の戦い』が続いていくと予測しています」。南シナ海は日本と欧州の海上交易に欠くことのできない重要なルートである。仮に対立がさらにエスカレートした場合、心理戦を前提とした海上閉鎖や軍事危機などが起こる可能性も皆無ではない。南シナ海紛争は日本にとっても避けて通ることのできない切迫した問題あり、的確な現状分析に基づく具体的な対応策が求められている。

## 開設時から多彩な研究計画を推進

南シナ海研究センターでは、2015年7月の設置時に研究実施計画を掲げている。一つはデータベースの構築である。各国の公式文書、条約、新聞報道などによる情報収集を行い、蓄積した南シナ海問題に関する基礎的データをウェブサイトで発信する準備を進めている。次に国内外の専門家による国際シンポジウムの開催。第1回目は本研究センター、同志社大学市民外交研究センター主催、京都日米協会の後援で『歴史の変動期の世界秩序とアジア：南シナ海問題と日本の進路』をテーマに2015年12月に開催した。今回は2018年1月の開催(下記参照)を予定している。また、研究会や講演会も年間数回程度行ってきた。例えば、直近では2017年7月に廣中雅之氏(日本再建イニシアティブ上級研究員)を講師に招聘して講演会『米国の国防政策・戦略の最新動向—トランプ政権発足100日の評価—』を実施した。さらに、数年後を目途に国際シンポジウムの発表内容を中心にした報告書や論文集を公刊し、本研究センターの多彩な活動をこれに結実させたいと考えている。



## 開催予告

### 国際シンポジウム『南シナ海問題と世界秩序』(仮)

Making and Unmaking World Order: Contextualizing Contemporary Dynamics in the South China Sea

開催日時 2018年1月27日(土) 10:00~18:15

開催場所 同志社大学今出川キャンパス良心館地下2階2番教室

主催：同志社大学南シナ海研究センター・千葉大学グローバル関係融合研究センター共催  
後援：調整中

#### 概要

米中二大国間のパワーシフトをともなう国際構造変動の時代において、いかに正当な国際ルールを維持もしくは形成していくかという問題意識から、南シナ海をめぐる紛争を分析し、国際秩序の将来を展望する。

- 第一部：基調講演 ジョン・G・アイケンベリー教授(プリンストン大学)
- 第二部：「国際政治、国際法、国際経済の観点からの南シナ海問題の分析」
- 第三部：「世界秩序の変容と南シナ海問題」

2016年度大学決算は、2017年5月11日開催の大学予算委員会および大学評議会、5月27日開催の法人理事会で承認されました。

2016年度は、今出川校地において、新町キャンパスの環境充実のため、尋真館の耐震改修工事等を行い、合わせて教室等の整備や歓談スペースの整備を進めました。また、開校30年を迎えた京田辺校地においては、学習環境整備の一環として、ラーネード記念図書館の改修を2017年度に行うための準備を進めたほか、スポーツ施設の再整備について、デイヴィス記念館空調設備更新工事および馬術厩舎改修工事に加え、キャンパス外のカヌー部合宿所艇庫増築工事を行いました。

教養面では、グローバル教育センターを開設し、外国語による授業の実施と教養教育の充実を促進しました。また、「良心と進取の気性に溢れ、グローバル化する世界で新たな価値を創造できる人物」の養成を目指し、グローバル・リベラルアーツ副専攻を設置し、同志社英語集中プログラムも開設しました。さらに、建学の理念である「国際主義」をより一層推進するため、グローバル人材育成推進事業（Go Global Japan）に掲げた取り組みを引き続き遂行しました。5年間で、協定大学の質的量的拡充、留学相談のワンストップサービス、Go Global ポートフォリオの活用、英語習熟度別クラス編成、Intensive Courses for TOEFLの新設等様々な取り組みを実践してきました。これらグローバル化を推進する取り組みは、今後同志社大学ビジョン2025に掲げられている「国際主義の更なる深化」へと継承され、新たな展開が期待されています。

研究面では、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチコンプレックス）推進プログラム」に、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構を中核機関とし、本学をはじめとする共同提案機関が提案した「i-Brain×ICT「超快適」スマート社会の創出グローバルリサーチコンプレックス」が採択されました。拠点では、けいはんな地域に集積するi-Brain（脳・人間科学技術等）とICT（IoT・AI・ロボット等）の融合

を核に、心の豊かさに注目し、「超快適」スマート社会の創出を目指します。

学生支援面では、自然災害に対する緊急措置として、「東日本大震災被災受援生に対する入学検定料および被災学生に対する学費減免措置」を継続するとともに、熊本県熊本地方の地震等についても、学資支弁が困難となった在学生在を対象に減免措置を行いました。

さらに、社会との連携を重視した取り組みとして、引き続き首都圏の企業と連携して「新ビジネス」フォーラムを実施しました。本学の研究シーズと関連した新規事業の創出とグローバル時代の経済・産業・社会の動向や課題、ニーズを踏まえた研究の企画を目指し、さらなる研究の推進に取り組みました。また、ボランティア支援室を開設し、ボランティアに関するスキルアップを目指すための各種セミナー・講演会、地域の方々と交流できる催しを定期的に行いました。今後も、大学が地域社会の一員としての責任にこたえていくことを念頭に置き、活動を展開していきます。

なお、既存設備の整備事業として、今出川校地においては、継志館の給湯管改修を実施し、京田辺校地においては、至心館、創者館の空調設備更新工事、昇降機更新工事等各種整備に取り組みました。また、教育及び研究の基盤として運用している情報系システムについては、教務システムや統合運用管理システムなどのリプレースに取り組みました。

上記のとおり、2016年度は、従来から継続している国際化の推進と情報系システムのリプレースをはじめ、各方面で必要となる財政的支援を行いました。収入面では、入学志願者数を安定的に確保したことによる入学検定料の増加、研究助成や奨学事業宛寄付金の受入れおよび図書・機器の現物寄付による寄付金の増収、受託研究事業の採択に伴う外部資金の獲得に継続的に取り組んだことにより、予算よりも増収となっている一方、支出面では、教育研究に係る各事業での経常的経費の執行残などにより、予算と比較して減少となりました。

以下、収支計算書に基づき主な収支の内容について説明します。

## 収入の部

学生生徒等納付金は328億円で、事業活動収入に占める割合は81%と大きな比重を占めています。

手数料は20億円で、入学検定料が主なものです。寄付金は5億円で、教育研究施設等整備資金寄付金、研究助成への奨学寄付金、寄付教育研究プロジェクトなど教育研究活動への寄付金、奨学事業への寄付金を受入れました。

補助金は25億円で、国庫補助金が主なものです。この大部分を占めるのが私立大学等経常費補助金で、一般補助17億円、特別補助4億円を受入れています。その他の国庫補助金では、防災機能等強化緊急特別推進事業などの採択を受け、さらにグローバル社会で活躍できる人材を育成するグローバル人材育成推進事業（Go Global Japan）、大学院教育の抜本的改革を支援する博士課程教育リーディングプログラムなどを受入れました。

受取利息・配当金は3億円で、各種引当資産の運用収入および預金などの受取利息・配当金です。

付随事業・収益事業収入は10億円で、企業からの受託研究費などの受託事業収入、学生寮の寮費などの補助活動収入が主なものです。

雑収入は8億円で、私立大学退職金財団からの交付金収入や施設設備利用料収入が主なものです。繰出金は5億円で、法人内諸学校からの資金調達額の返済額が主なものです。

分担金は1億円で、法人業務に係る法人内諸学校の負担分です。

当期固定資産除却額は14億円で、機器備品の償

却期間完了に伴う除却額などです。

当期末未払金は4億円で、固定資産取得に係る未払金額を今年度の基本金組入額の減額項目として計上しているものです。

特定支出準備金取崩額は3億円で、用途が特定された準備金の取崩額などです。

収入の部合計は426億円となり、手数料、寄付金、付随事業・収益事業収入などの増収により予算に対して6億円の増加となりました。

## 支出の部

人件費は205億円で、事業活動収入に占める割合は51%となりました。

教育研究経費は157億円で、経常的な教育研究活動に要した経費です。

管理経費は17億円で、大学の維持管理に要した経費です。

その他の事業活動支出は3億円で、法人内諸学校への経費の一部補助による繰入金1億円が主なものです。

施設関係支出は10億円で、既存建物の耐震改修工事や空調機器、昇降機の更新工事などによる支出です。

設備関係支出は16億円で、教育研究用機器備品、図書などの固定資産取得に係る支出です。

当期固定資産受贈額は2億円で、現物寄付に相当する固定資産の取得額です。

借入金等返済支出は1億円で、償還計画に基づく返済額です。

前期末未払金は3億円で、前年度に取得した固定

資産に係る未払金額の支払額を今年度の基本金組入額として計上しているものです。

基本金組入額は6億円で、将来取得する固定資産のための第2号基本金及び恒常的に保持すべき資金としての第4号基本金への組入額です。

特定支出準備金繰入額は13億円で、ラーネード記念図書館改修工事費用、用途特定寄付金および研究費などの予算繰越額を決算において繰り入れたものです。

支出の部合計は433億円で、予算に対して8億円の減少となりました。

## 収支差額

収入の部合計から支出の部合計を差し引いた当年度収支差額は7億円の支出超過となり、寄付金や付随事業・収益事業収入の増加や教育研究経費の執行残などにより、予算に対して14億円減少しました。なお、累積収支差額としては348億円の支出超過額を翌年度以降に繰り越すことになります。

## 借入金

借入金残高は、前年度末に対して1億円減少し、当年度末では1億円となりました。

## 自己資金の不足額

支出超過額は内部資金の不足額であり、借入金は外部資金への依存額です。したがって、この両方を合わせた金額が自己資金の不足額となります。

前年度末の不足額は342億円でしたが、当年度末に対して7億円増加し、349億円となりました。

## ■収支計算書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

(単位:千円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	32,783,790	32,752,670	31,120
手数料	1,732,200	1,976,036	△ 243,836
寄付金	270,780	513,980	△ 243,200
補助金	3,381,580	2,488,878	892,702
受取利息・配当金	304,670	333,144	△ 28,474
資産売却差額	0	0	0
付随事業・収益事業収入	718,730	997,091	△ 278,361
雑収入	675,870	807,819	△ 131,949
繰出金	450,520	464,084	△ 13,564
分担金	108,020	108,020	0
(事業活動収入合計)	( 40,426,160 )	( 40,441,722 )	( △ 15,562 )
当期固定資産除却額	1,324,670	1,399,070	△ 74,400
借入金等収入	0	0	0
当期末未払金	0	369,705	△ 369,705
第2号基本金取崩額	120,000	0	120,000
(基本金過年度組入額、未組入額合計)	( 1,444,670 )	( 1,768,775 )	( △ 324,105 )
特定支出準備金取崩額	121,280	340,411	△ 219,131
[収入の部合計]	[ 41,992,110 ]	[ 42,550,908 ]	[ △ 558,798 ]

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	20,745,160	20,479,126	266,034
教育研究経費	16,758,590	15,703,739	1,054,851
消耗品費他	12,696,950	11,646,322	1,050,628
減価償却額	4,061,640	4,057,417	4,223
管理経費	1,688,460	1,712,072	△ 23,612
消耗品費他	1,511,130	1,531,590	△ 20,460
減価償却額	177,330	180,482	△ 3,152
借入金等利息	2,300	2,304	△ 4
資産処分差額	2,510	42,708	△ 40,198
徴収不能額等	91,090	91,751	△ 661
繰入金	14,930	144,781	△ 129,851
予備費	240,000	0	240,000
(事業活動支出合計)	( 39,543,040 )	( 38,176,481 )	( 1,366,559 )
施設関係支出	1,834,030	957,262	876,768
設備関係支出	1,540,300	1,619,220	△ 78,920
当期固定資産受贈額	0	216,569	△ 216,569
借入金等返済支出	38,870	38,870	0
前期末未払金	333,150	333,152	△ 2
第2号基本金組入額	600,000	600,000	0
第3号基本金組入額	0	0	0
第4号基本金組入額	63,700	63,700	0
(基本金要組入額、当年度組入額合計)	( 4,410,050 )	( 3,828,773 )	( 581,277 )
特定支出準備金繰入額	124,810	1,264,453	△ 1,139,643
[支出の部合計]	[ 44,077,900 ]	[ 43,269,707 ]	[ 808,193 ]

### 用語解説

#### 収支計算書

当会計年度における収入及び支出の内容並びに均衡の状態をより明らかにするため、事業活動収支計算書をもとに基本金組入額計算に係る各項目をそれぞれ収入・支出の部に計上したのが『収支計算書』です。

#### 基本金

**第1号基本金**は、学校法人が、教育研究活動に供するため、自己資金により取得した固定資産の価額です。

収支計算書において第1号基本金組入額は、支出の部に取得した固定資産(施設関係支出、設備関係支出、現物寄付資産)の額を表示し、さらに過年度取得した固定資産に係る借入金等返済支出を表示しています。また、収入の部に固定資産取得に係る借入金等収入、固定資産除却による再取得価額などを表示しています。

**第2号基本金**は、将来取得する固定資産に充てるための資金です。

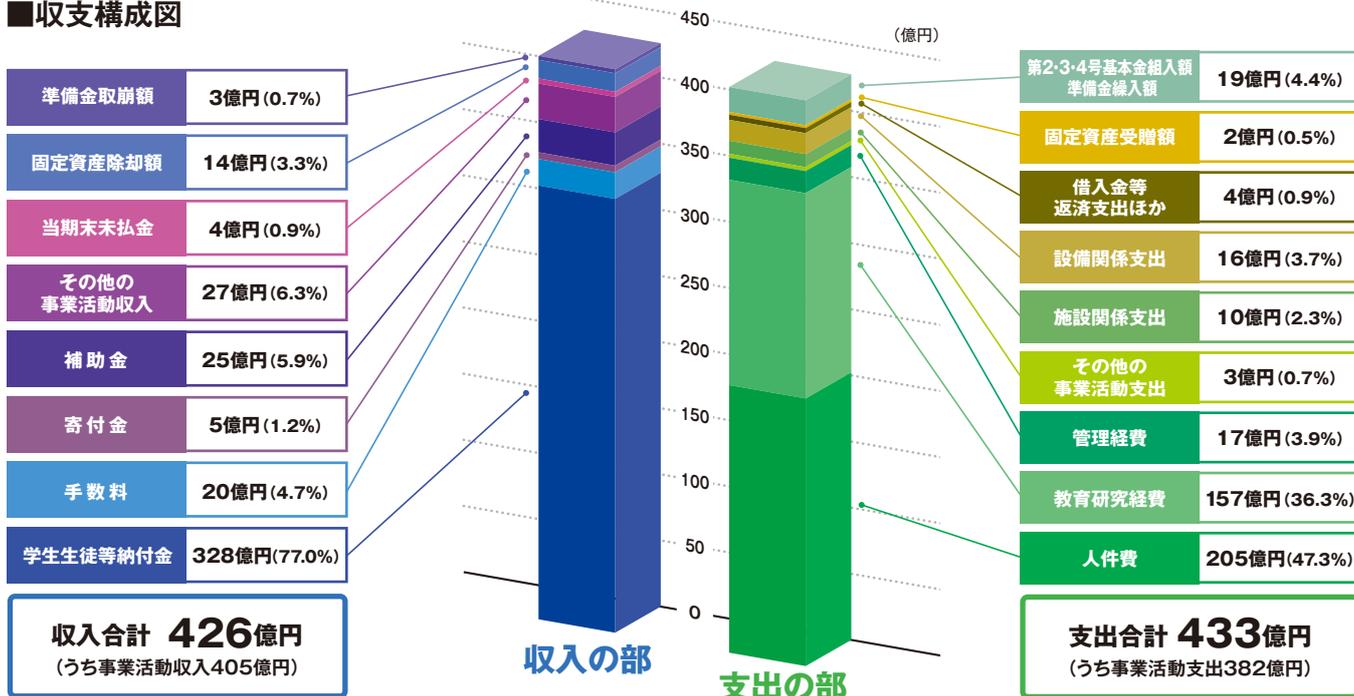
**第3号基本金**は、基金として継続的に保持し、その運用果実により教育研究活動の遂行を支援するための資金です。

**第4号基本金**は、恒常的に保持すべき資金として学校法人会計基準が定める額です。

収支差額の部			
科目	予算	決算	差異
(当年度収支差額)	( △ 2,085,790 )	( △ 718,799 )	( — )
一般支出準備金繰入額	0	0	—
一般支出準備金取崩額	0	0	—
[繰入取崩後当年度収支差額]	[ △ 2,085,790 ]	[ △ 718,799 ]	[ — ]
[前年度繰越収支差額]	[ △ 34,067,130 ]	[ △ 34,067,126 ]	[ — ]
[翌年度繰越収支差額]	[ △ 36,152,920 ]	[ △ 34,785,925 ]	[ — ]

借入金			
科目	予算	決算	差異
[前年度末借入金残高]	[ △ 127,710 ]	[ △ 127,710 ]	[ — ]
当年度借入額	0	0	—
当年度返済額	38,870	38,870	—
[当年度末借入金残高]	[ △ 88,840 ]	[ △ 88,840 ]	[ — ]

## ■収支構成図



# Doshisha Alumni Association



2016 リユニオン・ホームカミングデー  
「1日県人会」



朝食倶楽部



同志社ニューヨーク大懇親会

## 同志社校友会活動、同志社大学との連携

世界に広がる「同志社ネットワーク」  
これまで33万人の校友会会員が国内外で活躍

# 同志社校友会

同志社創立から10年後の1885年(明治18年)に「アルムニ(Alumni)会」という名前をもって発足したのが同志社校友会の始まりです。同志社小学校、同志社中学校・高等学校、同志社香里中学校・高等学校、同志社国際中学校・高等学校、同志社国際学院初等部・国際部、同志社大学の卒業生および、大学院修了生で組織されています。これまで約33万人の校友会会員が国内外で活躍し、その交流の拠点となっているのが校友会です。

### 同志社校友会基本方針

同志社校友会は、同志社の発展に寄与するという目的を掲げ、支部の基盤を強化し、大学事業支援、学生支援、卒業後の社会人活動支援に軸を置いて活動を行っています。近年は海外支部との連携も深まり、大学のグローバルな展開の支援も行っています。



同志社校友会会長  
井上 礼之

昭和32年経済学部卒業  
ダイキン工業株式会社  
取締役会長 兼  
グローバルグループ  
代表執行役員

主な社外歴  
日本経済団体連合会 常任幹事  
関西経済同友会 代表幹事(平成11年~平成13年)  
関西経済連合会 副会長(平成13年~現在)  
阪急阪神ホールディングス(株)、関西電力(株)、  
(株)大阪国際会議場、テレビ大阪(株) 四社の社外取締役 等

## 校友会活動を通して、学生生活だけでなく卒業後もサポートしています。

### 学生の皆さんへ

### キャンパスライフでのサポート

#### ①各種奨学金制度(給付型)

- 同志社校友会奨学金
- 同志社スポーツ奨学金
- 同志社校友会グローバル人材育成奨学金(海外留学支援)

#### ②学生緊急支援制度(学生セーフティネット)

様々な理由により経済的に学業の継続が困難になった場合に、大学と連携して緊急支援を行います。

#### ③大学連携事業

下宿生を対象にした懇親会企画やコミュニティ立ち上げのバックアップ、毎週1回「100円」でおいしい朝食を学食で

提供する「朝食倶楽部」への支援など、大学と連携しながら学生の皆さんのキャンパスライフが豊かになるよう支援を行っています。

#### ④京田辺活性化支援

⑤学生課外活動支援  
支部総会や地方でのイベントなど校友会とクラブが連携して行う活動の支援や、クラブ課外活動の告知サポートなど。

#### ⑥学生海外活動支援

海外の支部や校友会員の企業を拠点として、留学生生活サポートや海外インターシップを応援します。

#### ⑦国内外支部との連携

地元への就職や新しい土地への赴任先の最新の情報にアクセスできるよう、国内外支部連携や活動を支援しています。

### 卒業後のサポート

### 「校友会のネットワーク」を活かす!

就職や転職の情報が知りたい! 就職、転職、転居が決まった! そんな時は「その地域の支部」に連絡してみてください。あなたの先輩がいろんな情報を教えてくれます。

そして同志社を卒業したあなたは「校友会会員」です。「同志社校友会大懇親会」や支部の企画に参加してみましょう。諸先輩から有用な情報や、時には適切な人脈を紹介してもらえるかもしれません。ビジネスだけでなく趣味や生活など「ここだけの校友会情報」がたっぷり。

同志社校友会のネットワークは学生の皆さんの「キャンパスライフ」と卒業後の「同志社ライフ」が豊かになるよう、ワールドワイドに展開しています。

# 世界に広がる「同志社ネットワーク」

(2017年7月1日現在)

校友会および  
国内外支部の  
情報はこちらより

本部事務局 TEL: 075-251-4393  
E-mail: doshisha.alumni@gmail.com  
http://www.doshisha-alumni.gr.jp/index.html

## 国内支部 (48支部)

**北海道支部** TEL: 011-382-2188  
E-mail: info@hokkaido.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://hokkaido.doshisha-alumni.org

**青森県支部** TEL: 090-4044-7071  
E-mail: info@aomori.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.aomori.doshisha-alumni.org

**岩手支部** TEL: 090-1376-7374  
E-mail: info@iwate.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.iwate.doshisha-alumni.org

**宮城県支部** TEL: 022-378-5853  
E-mail: info@miyagi.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.miyagi.doshisha-alumni.org

**秋田県支部** TEL: 018-837-3080

**山形県支部** TEL: 023-622-7195  
E-mail: info@yamagata.doshisha-alumni.org

**福島県支部** TEL: 0248-25-2046  
E-mail: kohituzi@triton.ocn.ne.jp  
HPアドレス: http://doshisy7.main.jp

**茨城県支部** TEL: 029-874-2051  
E-mail: info@ibaraki.doshisha-alumni.org

**栃木県支部** TEL: 028-622-8844  
E-mail: info@tochigi.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.tochigi.doshisha-alumni.org

**群馬県支部** TEL: 0270-65-1684  
E-mail: info@gunma.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.gunma.doshisha-alumni.org

**埼玉県支部** TEL: 048-854-3788  
E-mail: info@saitama.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.saitama.doshisha-alumni.org

**千葉県支部** TEL: 047-337-0893  
E-mail: info@chiba.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.chiba.doshisha-alumni.org

**東京支部** TEL: 03-5579-9728  
E-mail: office@doshisha-tokyo-alumni.jp  
HPアドレス: http://doshisha-tokyo-alumni.jp/

**神奈川県支部** TEL: 0467-70-2447  
E-mail: info@kanagawa.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://blog.goo.ne.jp/blog.goo.ne.jp/doshisha-kanagawa/

**山梨県支部** TEL: 055-237-2977  
E-mail: info@yamanashi.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.yamanashi.doshisha-alumni.org

**長野県支部** TEL: 026-259-8610  
E-mail: info@nagano.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.nagano.doshisha-alumni.org

**新潟県支部** TEL: 025-247-7117  
E-mail: info@niigata.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.niigata.doshisha-alumni.org/

**富山県支部** TEL: 076-421-8585  
E-mail: info@toyama.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.toyama.doshisha-alumni.org

**石川県支部** TEL: 076-266-0555  
E-mail: info@ishikawa.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.ishikawa.doshisha-alumni.org

**福井県支部** TEL: 090-3767-8114

**岐阜県支部** TEL: 058-214-9000  
E-mail: info@gifu.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.gifu.doshisha-alumni.org

**静岡県支部** TEL: 054-237-5181  
E-mail: info@shizuoka.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.shizuoka.doshisha-alumni.org

**愛知支部** TEL: 052-205-9800  
E-mail: kamiya@f-nexus.com  
HPアドレス: http://www.doshisha-aichi.com/

**三重県支部** TEL: 0595-96-0909  
E-mail: info@mie.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.mie.doshisha-alumni.org

**滋賀県支部** TEL: 077-579-8601  
E-mail: info@shiga.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.shiga.doshisha-alumni.org

**京都支部** TEL: 075-541-5181  
E-mail: info@kyoto.doshisha-alumni.org

**大阪支部** TEL: 06-6308-2288  
E-mail: info@osaka.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.doshisha-osaka.jp/

**兵庫県支部** TEL: 078-232-7100  
E-mail: info@doshisha-hyogo.org  
HPアドレス: http://www.doshisha-hyogo.org/

**奈良県支部** TEL: 0742-27-1550  
E-mail: info@nara.doshisha-alumni.org

**和歌山県支部** TEL: 073-432-5776  
E-mail: info@wakayama.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.wakayama.doshisha-alumni.org/

**鳥取県支部** TEL: 0859-24-0551  
E-mail: info@tottori.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.tottori.doshisha-alumni.org

**島根県支部** TEL: 0852-28-5898  
E-mail: tewt181@ezweb.ne.jp

**岡山県支部** TEL: 090-3746-5612  
E-mail: info@okayama.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.okayama.doshisha-alumni.org

**広島県支部** TEL: 082-942-2273  
E-mail: info@hiroshima.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.hiroshima.doshisha-alumni.org

**山口県支部** TEL: 0827-31-9346  
E-mail: horiuchi@sky.icn-tv.ne.jp

**徳島県支部** TEL: 088-653-0002  
E-mail: fc8j6p@bma.biglobe.ne.jp  
HPアドレス: http://www.tokushima.doshisha-alumni.org

**香川県支部** TEL: 087-891-9213  
E-mail: info@kagawa.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.kagawa.doshisha-alumni.org

**愛媛県支部** TEL: 0897-55-7151  
E-mail: info@ehime.doshisha-alumni.org

**高知県支部** TEL: 088-884-1703  
E-mail: harimaya@isis.ocn.ne.jp

**福岡支部** TEL: 092-632-8222  
E-mail: fukuoka.doshisha@gmail.com  
HPアドレス: http://doshisha-fukuoka.com

**北九州支部** TEL: 093-621-3646  
E-mail: info@kitakyushu.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.kitakyushu.doshisha-alumni.org

**佐賀県支部** TEL: 0952-62-1198  
E-mail: info@saga.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.saga.doshisha-alumni.org

**長崎県支部** TEL: 095-825-1723  
E-mail: info@nagasaki.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.nagasaki.doshisha-alumni.org

**熊本県支部** TEL: 096-243-1221  
E-mail: info@kumamoto.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.kumamoto.doshisha-alumni.org

**大分県支部** TEL: 097-574-7225  
E-mail: info@oita.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.oita.doshisha-alumni.org

**宮崎県支部** TEL: 0985-51-3067  
E-mail: info@miyazaki.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.miyazaki.doshisha-alumni.org

**鹿児島県支部** TEL: 099-202-0732  
E-mail: info@kagoshima.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.kagoshima.doshisha-alumni.org

**沖縄県支部** TEL: 098-933-9956  
E-mail: info@okinawa.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.okinawa.doshisha-alumni.org

## 海外支部 (31支部)

**ニューヨーク同志会**  
E-mail: nydoshishakaijimukyoku@gmail.com  
HPアドレス: http://www.ny.doshisha-alumni.org

**ワシントンDC同志会**  
E-mail: info@washington.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.washington.doshisha-alumni.org

**米国中西部支部**  
E-mail: info@us-midwest.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.us-midwest.doshisha-alumni.org

**米国西部支部**  
E-mail: info@us-west.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.us-west.doshisha-alumni.org

**同志社ト론평会**  
E-mail: doshisha.toronto@gmail.com  
Facebook: https://www.facebook.com/groups/519684948123907/

**カナダ同志社バンクーバー会**  
E-mail: doshishavancouver@hotmail.com  
Facebook: https://www.facebook.com/groups/872835306084224/

**ブラジル・サンパウロ同志会**  
E-mail: info@sp-brasil.doshisha-alumni.org

**韓国校友会**  
住所: Lake Palace 125-1803.88, Jamsil-ro, Songpa-gu, Seoul, Republic of Korea

**香港支部・香港クローバー会**  
E-mail: doshisha\_hk@yahoo.co.jp

**北京クローバー会**  
E-mail: seiiji.miyake1@konicaminolta.com  
HPアドレス: http://doshisha-sh.wix.com/doshisha-sh#!untitled/c1095

**大連同志社クローバー会**  
E-mail: huaqing\_wang1111@yahoo.co.jp

**同志社大学上海クローバー会**  
E-mail: doshishash@gmail.com  
HPアドレス: http://doshisha-sh.wix.com/doshisha-sh

**広州クローバー会**  
E-mail: info@gz-china.doshisha-alumni.org

**青島クローバー会**  
E-mail: info@qd-china.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.qd-china.doshisha-alumni.org

**台湾支部**  
E-mail: kaoelisa888@gmail.com

**同志社校友会ベトナム支部今出川倶楽部**  
E-mail: info@vietnam.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.vietnam.doshisha-alumni.org

**フィリピン: マニラ・クローバー会**  
E-mail: info@manila.doshisha-alumni.org

**タイ: 泰国同志社クローバー会**  
TEL: 6686-088-3291

**マレーシア新島会**  
E-mail: kogure@durachem.com.my  
HPアドレス: http://www.38.tok2.com/home/masnijimakai/

**シンガポール・クローバー会**  
E-mail: umeda@barreloi.com.sg

**インドネシア・クローバー会**  
E-mail: yasuyuki.yamazaki@obayashi.ntt.net.id

**オーストラリア・クローバークラブ シドニー支部**  
E-mail: info@sydney.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.sydney.doshisha-alumni.org

**オーストラリア・クローバークラブ プリスベン支部**  
E-mail: info@brisbane.doshisha-alumni.org  
HPアドレス: http://www.brisbane.doshisha-alumni.org/

**トルコ: イスタンブールクローバー会**  
E-mail: minoru.iwamura@nipponpaint.jp

**ドイツクローバー会**  
E-mail: doshisha.clover@yahoo.com  
HPアドレス: http://www.germany.doshisha-alumni.org

**パリ同志社クローバー会**  
E-mail: doshishaparis@gmail.com  
HPアドレス: http://www.paris.doshisha-alumni.org

**同志社スペイン会**  
E-mail: tokomimosa@hotmail.com  
HPアドレス: http://www.spain.doshisha-alumni.org

**ロンドン・クローバー会**  
E-mail: atsukoconsole@gmail.com

**フィレンツェクローバー会**  
E-mail: italia.clover.alumni@gmail.com

**ミラノクローバー会**  
E-mail: takayuki.kamekawa@daikin.it

**同志社校友会マンマーズ支部**  
E-mail: takayuki\_morishita@konoike-mm.com



## 2017年度春学期外国語honors認定書授与式

6月1日、同志社礼拝堂にて、2017年度春学期外国語honors認定書授与式を挙行了しました。外国語honors制度(外国語科目成績優秀者表彰制度)は、高度な外国語運用能力と国際的な視野と見識を備えた人材の育成を目標に、外国語について優秀な成績を修めた学生を表彰する制度で、2006年度春学期から導入しています。

授与式では、稲岡恭二教務部長の司会のもと、松岡敬学長から祝辞が述べられ、外国語科目成績優秀者一人ひとりに認定

書と記念品が手渡されました。

認定を受けたのは、神学部2人、文学部13人、社会学部1人、法学部5人、経済学部1人、商学部1人、グローバル・コミュニケーション学部15人、グローバル地域文化学部8人の計46人で、言語の内訳は、英語24人、フランス語1人、中国語9人、スペイン語1人、ロシア語1人、ロシア語5人、アラビア語2人、日本語3人でした。認定書を授与された学生は、以下のとおりです。(敬称略)



### ■外国語honors(英語)

- 村山 美久璃(文学部・2014年度生)
- 小田 千遥(文学部・2014年度生)
- 岡崎 大樹(文学部・2014年度生)
- 山添 総一郎(文学部・2014年度生)
- 小谷 真由(文学部・2014年度生)
- 石渡 早希(文学部・2015年度生)
- 柵木 茉友子(文学部・2015年度生)
- 西小野里旗(文学部・2015年度生)
- 竹内 毬絵(文学部・2015年度生)
- 冨永 由紀(文学部・2015年度生)
- 上見 有由(文学部・2015年度生)
- 養父 芽依(文学部・2015年度生)
- 千田 正利(法学部・2013年度生)
- 松尾 佳奈(法学部・2013年度生)
- 三村 由衣(法学部・2014年度生)
- 朴 炫宣(グローバル・コミュニケーション学部・2012年度生)
- 浅野 潤(グローバル・コミュニケーション学部・2014年度生)
- 木村 美佑(グローバル・コミュニケーション学部・2014年度生)

- 森川 友菜(グローバル・コミュニケーション学部・2014年度生)
- 岡田 笑佳(グローバル・コミュニケーション学部・2014年度生)
- 上田 未来(グローバル・コミュニケーション学部・2014年度生)
- 綿引 円香(グローバル・コミュニケーション学部・2014年度生)
- 山本 真彩(グローバル・コミュニケーション学部・2014年度生)
- 藤井 佑有(グローバル地域文化学部・2014年度生)

### ■外国語honors(フランス語)

- 東浦 璃沙(グローバル地域文化学部・2014年度生)

### ■外国語honors(中国語)

- 杉山 早紀(文学部・2013年度生)
- 川口 夏華(法学部・2014年度生)
- 岡元 恵美(商学部・2013年度生)
- 後藤 美涼(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)
- 鎌田 峻介(グローバル・コミュニケーション学部・2014年度生)
- 辻 ありさ(グローバル・コミュニケーション学部・2014年度生)
- 山本 昂佑(グローバル・コミュニケーション学部・2014年度生)
- 深井 柚里(グローバル地域文化学部・2014年度生)
- 長森 由真(グローバル地域文化学部・2015年度生)

### ■外国語honors(スペイン語)

- 梶原 舞(グローバル地域文化学部・2015年度生)

### ■外国語honors(ロシア語)

- 田中 祐美(社会学部・2013年度生)

### ■外国語honors(ロシア語)

- 眞田 千愛(法学部・2014年度生)
- 西野 みなみ(経済学部・2014年度生)
- 平岡 杏音(グローバル地域文化学部・2014年度生)
- 戸高 咲(グローバル地域文化学部・2014年度生)
- 儀田 沙紀(グローバル地域文化学部・2015年度生)

### ■外国語honors(アラビア語)

- 野澤 風香(神学部・2014年度生)
- 山中 飛鳥(神学部・2015年度生)

### ■外国語honors(日本語)

- 朴 炫宣(グローバル・コミュニケーション学部・2012年度生)
- 邢 新悦(グローバル・コミュニケーション学部・2013年度生)
- 呉 悦天(グローバル・コミュニケーション学部・2014年度生)

(今出川校地教務課)

## 鈴木大地スポーツ庁長官が来学

5月9日、スポーツ庁の鈴木大地長官が本学へ来学し、大学が保有するスポーツ施設に関する有効活用施策を調査するため、継志館のプールやジムを視察されました。ジムでは、スタッフとして働いている学生たちと気さくにお話をされる場面も。視察の後には、これからの大学スポーツ振興について、松岡敬学長と意見交換が行われました。



## 企画展「新島襄が感じた地球」の来場者数が1万人を突破

同志社ギャラリーで7月9日まで開催されていた企画展「新島襄が感じた地球」の来場者数が、7月1日に1万人を突破しました。これを記念して、1万人目の入場者である大阪市在住の増田智子さんに記念品をお贈りし、増田さんからは「新島襄先生の大ファンです。本日は大変光栄です。本当にありがとうございました」とコメントをいただきました。

当日は関連イベントとして公開講演会を開催していたこともあり、講演会の講師で同志社大学地学研究会の顧問である林田明理工学部教授と同志社社史資料センター所長の小林丈広文学部教授、そして現役部員がプレゼンターを務めました。



(同志社社史資料センター)

2017年度  
卒業式・  
学位授与式  
(学部・大学院)



日時		学部・研究科	場所
3月20日 (火)	10:00	法学部・法学研究科	栄光館 (今出川校地)
	12:30	文学部・文学研究科	
	15:00	神学部・神学研究科、社会学部・社会学研究科、 グローバル地域文化学部、国際教育インスティテュート	
3月21日 (水・祝)	10:00	商学部・商学研究科	栄光館 (今出川校地)
	12:30	経済学部・経済学研究科	
	15:00	政策学部・総合政策科学研究科、アメリカ研究科、 グローバル・スタディーズ研究科、司法研究科、 ビジネス研究科	
3月22日 (木)	10:00	文化情報学部・文化情報学研究科、 生命医科学部・生命医科学研究科、 スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科、 心理学部・心理学研究科、 グローバル・コミュニケーション学部、脳科学研究科	デバイス 記念館 (京田辺校地)
	13:00	理工学部・理工学研究科	

2018年度  
入学式  
(学部・大学院)



日時		学部・研究科	場所
4月1日 (日)	10:00	文学部、社会学部、政策学部、文化情報学部、 スポーツ健康科学部	デバイス 記念館 (京田辺校地)
	12:00	商学部、理工学部、生命医科学部、 グローバル・コミュニケーション学部	
	14:00	神学部、法学部、経済学部、心理学部、 グローバル地域文化学部	
4月3日 (火)	10:00	全研究科	栄光館 (今出川校地)
	12:30	国際教育インスティテュート	クラーク・チャペル (今出川校地)

2017年度  
クリスマス・  
イルミネーション  
点灯式

	日時(時間は予定)		場所
今出川校地	11月20日(月)	17:15~17:45	西門北側サンクタスコート ヒマラヤスギ周辺
京田辺校地	12月1日(金)	16:45~17:15	ローム記念館前

新任教員紹介

授業科目を担当する専任教員を紹介します。

①所属(学科/専攻) ②職名 ③主な担当科目



**Jennifer Mary MCGUIRE**  
(ジェニファー マアリー マグワイア)  
①社会(社会)  
②助教(有期)  
③社会学特講Ⅲ



**鷺谷 洋輔**  
(わしや ようすけ)  
①スポーツ健康科(スポーツ健康科)  
②助教(有期)  
③スポーツパフォーマンス1



**GOUJON Jonathan**  
(グジョン ジョナタン)  
①グローバルコミュニケーション  
(グローバルコミュニケーション)  
②助教(有期)  
③Communicative Skills in French II



**中西 正**  
(なかにし まさし)  
①司法研究科(法務)  
②教授  
③民事訴訟法総合演習

## 本学教員の執筆図書紹介

図書館調べ(価格は税別)

### 憲法判例50!

尾形健 他 著 有斐閣 1,800円

### フロンティア生物無機化学

小寺政人 他 著 三共出版 7,500円

### 新約聖書の学び

越川弘英 著 キリスト新聞社 2,000円

### アメリカ映画とキリスト教

木谷佳楠 著 キリスト新聞社 1,600円

### 手術用シーラント材・癒着防止材の 利便化向上を目指した製品開発

萩原明於 他 著 技術情報協会 80,000円

### 五〇年目の日韓つながり直し

太田修 他 著 社会評論社 2,400円

### 谷崎潤一郎読本

瀬崎圭二 他 著 翰林書房 3,200円

### 社会的事実の数理

落合仁司 著 勁草書房 2,200円

### 本能の現象学

中村拓也 訳 晃洋書房 4,800円

### 「まつりごと」から「市民」まで

出原政雄 他 著 晃洋書房 3,400円

### あなたのキャリアのつくり方

浦坂純子 著 筑摩書房 820円

### シェイクスピアと異教国への旅

勝山貴之 著 英宝社 4,200円

### 日本の公開買付け

白井正和 他 著 有斐閣 7,600円

### 「ヘイト」の時代のアメリカ史

和泉真澄 他 著 彩流社 2,500円

### 黒海地域の国際関係

月村太郎 他 著 名古屋大学出版会  
6,300円

### 災害と厄災の記憶を伝える

小野文生 他 著 勁草書房 4,000円

### 企業法の進路

白井正和 他 著 有斐閣 23,000円

### 日本国民をつくった教育

沖田行司 著 ミネルヴァ書房 2,500円

### 日朝関係史

太田修 他 著 吉川弘文館 3,500円

### パキスタン財閥の ファミリービジネス

川満直樹 著 ミネルヴァ書房 4,000円

### 2100年へのパラダイム・シフト

村田晃嗣 他 著 作品社 1,800円

### 思考ツールを利用した 日本語ライティング

脇田里子 著 大阪大学出版会 4,100円

### 東南アジア地域研究入門3 政治

鈴木絢女 他 著 慶應義塾大学出版会 3,600円

### 労働六法 2017

土田道夫 他 著 旬報社 4,000円

### 宋・清代の政治と社会

城地孝 他 著 汲古書院 8,000円

### 貧困と闘う知

峯陽一 他 訳 みすず書房 2,700円

### 社会福祉概論I現代社会と福祉 改訂第8版

埴橋孝文 他 編著 全国社会福祉協議会 2,400円

### ドン・アルバロ あるいは 運命の力

稲本健二 訳 現代企画室 2,500円

### エネルギーと経済、そして人間

石田葉月 著 大学教育出版 4,800円

### 民事手続法の現代的課題と 理論的解明

岡田幸宏 川嶋四郎 金春 園田賢治  
林昭一 他 著  
弘文堂 15,000円

### 宗教と対話

小原克博 勝又悦子 編  
村田晃嗣 木原活信 小原克博 四戸潤弥  
勝又悦子 平岡光太郎 森山央朗 他 著  
教文館 3,000円

### 戦後日本の開発と民主主義

庄司俊作 編 庄司俊作 他 著  
昭和堂 6,400円

### 良心を考えるために

小原克博 下楠昌哉 木原活信 八木匡  
和田喜彦 林田明 武藤崇 貴名信行 他 著  
同志社大学良心学研究センター

### 六法全書 平成29年版

山下友信 他 編 有斐閣 12,000円

### 日本の大学英語教育における 多読の効果

稲垣俊史 他 著 一粒書房 800円

### 対話

岸文和 他 著 風媒社 3,800円

### 文芸翻訳入門

藤井光 編 藤井光 他 著 フィルムアート社  
1,800円

### 舞台をまわす、舞台がまわる

阿川尚之 他 編 中央公論新社 3,000円

### 知的財産法演習ノート 第4版

井関涼子 他 著 弘文堂 3,000円

### あま世へ

### 沖縄戦後史の自立にむけて

富山一郎 他 編 法政大学出版局  
2,700円

### 人間の安全保障と平和構築

峯陽一 他 著 日本評論社 2,600円

### 刑法演習ノート 第2版

十河太郎 他 著 弘文堂 3,000円

### 現代統計学

宿久洋 他 編 日本評論社 2,700円

### 18歳からはじめる民法 第3版

野々村和喜 他 著 法律文化社 2,200円

### 日中韓メディアの衝突

小黒純 他 著 ミネルヴァ書房 5,000円

### 医療用バイオマテリアルの 研究開発

萩原明於 他 著 シーエムシー出版  
76,000円

### 公共経済学で日本を考える

八木匡 他 編著 宮澤和俊 他 著  
中央経済社 2,700円

### 日本古代君主制成立史の研究

北康宏 著 塙書房 12,000円

### よくわかるスポーツマネジメント

二宮浩彰 他 著 ミネルヴァ書房  
2,400円

### 源氏物語とシェイクスピア

廣田收 勝山貴之 著 新典社  
1,700円

### 入門刑事法 第6版

瀬川晃 他 編 有斐閣 2,500円

### 中東・イスラーム研究概説

岩坂将充 他 著 明石書店  
2,800円

### 中近世の生業と里湖の環境史

佐野静代 著 吉川弘文館 9,500円

### 政治の司法化と民主化

鈴木絢女 他 著 晃洋書房 4,000円

### Rによるデータサイエンス 第2版

金明哲 著 森北出版 3,600円

### 海辺の恋と日本人

瀬崎圭二 著 青弓社 1,600円

## アメリカ憲法と公教育

尾形健 他 著 成文堂 7,500円

## スーパーマンの誕生

遠藤徹 著 新評論 2,000円

## 外国人の子ども白書

小池未来 他 著 明石書店 2,500円

## スポーツの法律相談

川井圭司 他 著 青林書院 3,900円

## なぜ日本企業は勝てなくなったのか

太田肇 著 新潮社 1,200円

## 他者との邂逅は何をもたらすのか

王柳蘭 他 著 昭和堂 3,200円

## 社会変革と社会科学

濱真一郎 戒能通弘 他 著 昭和堂 5,000円

## 行政法の基本 第6版

佐伯彰洋 他 著 法律文化社 2,700円

## 木津川・淀川流域における弥生 ～古墳時代集落・墳墓の動態に 関する研究

若林邦彦 編 若林邦彦 他 著  
同志社大学歴史資料館

## 包摂都市のレジリエンス

佐々木雅幸 他 著 水曜社 3,000円

## よくわかる権利擁護と 成年後見制度 改訂版

永田祐 他 編著 ミネルヴァ書房 2,600円

## 園城寺の仏像 第2巻

井上一稔 他 編著 思文閣出版 18,000円

## 現代民事手続の法理

川嶋四郎 他 著 弘文堂 14,000円

## 構造と主体

清水習 著 晃洋書房 2,800円

## 心理調査の基礎

鈴木直人 他 編著 有斐閣 1,900円

## パフォーマンスがわかる12の理論

及川昌典 他 著 金剛出版 3,200円

## 地域福祉論

永田祐 他 著 ミネルヴァ書房 2,800円

## 金融革新と不安定性の経済学

植田宏文 著 中央経済社 3,200円

## スポーツ法学

川井圭司 他 著 エイデル研究所 2,500円

## 憲法I 総論・統治 第2版

松本哲治 他 著 有斐閣 2,700円

## 法の理論 35

戒能通弘 他 著 成文堂 3,800円

## 図書館情報学を学ぶ人のために

原田隆史 他 編著 世界思想社 2,400円

## 社会福祉学習双書 2017 第8巻 地域福祉論

上野谷加代子 他 編著 永田祐 他 著  
全国社会福祉協議会 2,400円

## イタリアの黒死病関係史料集

石坂尚武 編訳 刀水書房 14,000円

## よくわかる看護組織論

久保真人 他 編著 ミネルヴァ書房 2,800円

## プラグマティズムを学ぶ人のために

新茂之 他 編著 世界思想社 2,400円

## 憲法II 人権 第2版

松本哲治 他 著 有斐閣 2,900円

## 北に渡った言語学者・ 金壽卿の再照明

板垣竜太 コンヅン 他 編著  
同志社コリア研究センター

## 日記からみた東アジアの冷戦

板垣竜太 他 編著 太田修 他 著  
同志社コリア研究センター

## 人権問題資料 改訂第5版

横井和彦 越川弘英 三木メイ 他 著  
同志社大学キリスト教文化センター

## 管理会計・入門 第4版

中川優 他 著 有斐閣 2,300円

## 市民生活と現代法理論

高杉直 他 著 成文堂 15,000円

## 現代日本の法過程 上巻

武蔵勝宏 他 編著 川嶋四郎 他 著 信山社  
17,800円

## 新装版 フッサールの現象学

中村拓也 他 訳 晃洋書房 2,400円

## 国際紛争 原書第10版

村田晃嗣 他 訳 有斐閣 3,000円

## 論究憲法

尾形健 松本哲治 他 著 有斐閣 3,800円

## 国会を考える

勝山教子 他 著 三省堂 2,800円

## 近代アメリカの公共圏と市民

肥後本芳男 他 著 東京大学出版会 5,500円

## ベーシック条約集 2017年版

坂元茂樹 他 編 東信堂 2,600円

## もっとなっとく 使えるスポーツサイエンス

石井好二郎 他 編著 上林清孝 渡邊裕也 他 著  
講談社 2,000円

## スコットランドの選択

力久昌幸 著 木鐸社 4,500円

## 山中敬一先生古稀祝賀論文集 上巻

松原久利 他 著 成文堂 20,000円

## 山中敬一先生古稀祝賀論文集 下巻

奥村正雄 川本哲郎 他 著 成文堂 20,000円

## 偽りの経済政策

服部茂幸 著 岩波書店 820円

## 教育実習から教員採用・ 初任期までに知っておくべきこと

児玉祥一 他 著 教育出版 2,200円

## 自己意識と他性

中村拓也 訳 法政大学出版局 4,700円

## 看護婦の歴史

山下麻衣 著 吉川弘文館 3,500円

## ケルト文化事典

下楠昌哉 他 著 東京堂出版 5,000円

## 会計監査本質論

百合野正博 著 森山書店 3,300円

## はじめてまなぶ監査論

百合野正博 他 編著 中央経済社 2,300円

## 家族システムの

## 理論的・実証的研究 増補改訂版

立木茂雄 著 萌書房 3,200円

## ブリッジブック国際人権法 第2版

坂元茂樹 他 著 信山社 2,500円

## 生理心理学と精神生理学 第I巻 基礎

櫻井芳雄 畑敏道 他 著 北大路書房 3,800円

## 経済刑法

川崎友巳 他 著 商事法務 8,000円



## 2017年度プロジェクト科目春学期成果報告会

7月30日、京田辺キャンパス同志社ローム記念館にて、全学共通教養教育科目「プロジェクト科目」2017年度春学期成果報告会を開催しました。春学期・秋学期連結科目11クラスの履修生が、活動の成果をまとめたポスターをもとに、ポスターセッション形式で中間報告を行いました。

当日はオープンキャンパスも開催されており、履修生のみならず、高校生や保護者の方、過年度履修生など、約210人の参加者の熱気に包まれました。



各ブースでは、履修生が来訪者に対して積極的に声をかけ、活動の成果を熱心に伝えていました。その熱意や聴衆者一人ひとりに丁寧に対応する姿からは、プロジェクトの対象に対しても誠実に向き合っている様子が垣間見え、審査員からも高評を得ました。しかし一方では、ポスターの完成度がクラス毎に差があることや、活動の目的・動機づけが弱い、企画の目的や継続についての追究が甘い、といったような厳しい意見や指摘も述べられました。このような声は今後の更なる成果に大きな期待が寄せられているゆえであり、履修生には、今回の報告会での評価や意見を「新たな課題の発見」と捉え、今後の活動に活かされることが望まれます。

終了後の履修生からは、「セッションを通して自分たちのプロジェクトの問題点が明確になった」「他クラスの活動や聴衆者からのアドバイスを参考にして次の企画に

活かしたい」という声が聞かれ、これまでの活動を省みて、今後の活動をより意義のあるものにしたいという前向きな姿勢が窺えました。

閉会式では、最優秀賞、優秀賞および特別賞の表彰が行われ、入賞したクラスには大きな賞賛の拍手が送られました。各賞は以下のとおりです。

### 👑 最優秀賞

#### 西陣のモノづくり産業の見える化と交流促進を通じた地域活性化

科目担当者:北林 功  
科目代表者:八木 匡(経済学部)

### 👑 優秀賞

#### クラシック音楽のコンサートを創ろう!

科目担当者:鈴木 利奈  
科目代表者:伊達 立晶(文学部)

### 👑 特別賞

#### 絵本は心のごちそう・プロジェクト

科目担当者:上野 康治  
科目代表者:金田 重郎(理工学部)

(今出川校地教務課)

## 「第2回サイエンスコミュニケーター養成副専攻講演会」開催

5月28日、今出川校地良心館で「これから世界が求めるサイエンスコミュニケーターとは」をテーマに生命医科学部主催の講演会が開催されました。ジャーナリストの池上彰氏に「文系と理系に分断された社会にブリッジを」、作家で神学部客員教授の佐藤優氏に「同志社の伝統における科学と宗教」と題して講演を行っていただき、続いて生命医科学部特別客員教授の石浦章一氏と本学学生2人が加わり、生命医科学部の野口範子教授の進行によりパネルディスカッションが行われました。他では聞くことができない本音トークも飛び出し、会場はわきあがりました。サイエ

ンスコミュニケーター養成副専攻は、2016年度生命医科学部と経済学部、2017年度には社会学部が加わって開講されている、両校地を結ぶ文理横断型の副専攻。池上氏の講演の中でも理系分野に関する出来事を専門外の人々にわかりやすく説明するサイエンスコミュニケーターの養成が急務であることが強調されました。佐藤氏は理解力とコミュニケーション力の修得には文系理系を問わず数学の基礎と英語の徹底学習が重要と述べられました。講演会後のアンケートには、



有意義な時間を過ごせたという感想とともに、質疑応答の時間をもっととってほしかったとの希望が多く寄せられ、関心の高さが窺われました。



同志社大学公式 Facebook  
<https://www.facebook.com/doshisha.university>



同志社大学公式 twitter  
[https://twitter.com/DoshishaUniv\\_PR](https://twitter.com/DoshishaUniv_PR)



服部 祥亮 さん  
〔理工学部機械システム工学科 4年次生〕



東條 政利 さん  
〔1991年 文学部社会学科社会学専攻 卒業〕



クラーク記念館 山室軍平のレリーフ前にて

映画監督 ■『地の塩 山室軍平』10月21日(土) ロードショー開始

# 東條 政利 さんに聞く

社会の底辺で苦しむ人々のために、数多くの実践的な慈善活動に邁進し、日本の社会福祉の先駆者として礎を築いた山室軍平。その人間愛の生涯を映画化した東條政利監督に在学生在が取材しました。

## 今回の同志社人

東條 政利 さん

〔1991年 文学部社会学科社会学専攻 卒業〕  
とうじょう・まさとし 1968年生まれ、新潟県出身。KYOTO 映画塾を卒業後、三池崇史監督、堤幸彦監督、柳町光男監督などの作品に助監督として携わる。初監督作品は映画『9/10 ジュウブンノキウ』（2006年）。以後、数多くの映画、テレビドラマの監督を務めている。

## 今回のインタビューー

服部 祥亮 さん

〔理工学部機械システム工学科 4年次生〕

はっとり・よしたか 愛知県出身。少年の頃からシステマティックな機械の作動に魅力を感じ、高校時代に航空宇宙工学の分野を目指す。現在、ロケットエンジンのシールを研究中。課外活動では、1年次生の時から所属している同志社グリークラブの幹事長として活躍している。

## その愚直なまでの情熱に 圧倒され、感銘を受けた

**服部** 山室軍平について東條監督はどのような感慨をお持ちですか。

**東條** 一昨年の10月に映画化を決意し、本格的に資料を読み込み、取材を重ねながら構想を練り上げていきました。山室軍平の人生の足跡を辿る中で、何よりも心に深く響いたのは、「愛のために生きる」という彼の情熱です。その一途な思いに圧倒され、感銘を受けました。それで、山室軍平が行なった業績を描くのではなく、彼の情熱を描く映画にしたいと考えました。

軍平は明治5年(1872年)に岡山県の貧しい農家に生まれます。体が弱かった軍平を思い、母は「無事に育ちますように、ちいとも人様の役に立つ人となりますように」と祈りました。そしてその代わりに、当時のご馳走だった卵を生涯食べないと誓います。この母の願いに、軍平は一生を賭して応えようとして生きています。貧しさ故に9歳で質屋に養子に出されますが、15歳で義父の家を飛び出し、東京で一人働きながら生きることとなります。そこでキリスト教と出会い、これこそが人を救うものだと確信して夢中になって学びます。そして新島襄を慕って同志社に入学します。映



## ただ愛のために生きた この愚直な男の人生を 今の人に見てほしかった

**服部** この映画を通じて東條監督が特に伝えたかったことは何ですか。

**東條** 不器用で愚直な男の、愛のために生きたいという情熱に感動しました。新島先生は「一国の良心ともいふべき人々の養成」を建学の精神として掲げます。これは新島先生に憧れて同志社に入った山室軍平の生き方そのものでした。今の世の中、お金持



## 「一国の良心の育成」という 新島襄の志を体現した山室軍平

画の表題にある「地の塩」は聖書の言葉です。「地」は「天と地」の「地」で、私たちの生きている世界のことです。塩は見た目は白いですが、塩にとって大切なのはその塩辛さです。そして、塩は大根など他の食べ物に入ることによって役に立ちます。したがって、地の塩であろうとすることは、見かけではなく自分の精神を大切に、社会の中に入って役に立つような存在であろうとすることです。これこそ山室軍平が生涯にわたってその情熱を注いだことを表す言葉と考えて、映画の題名にしました。

**服部** 救世軍の活動理念に軍平は自らの理想を見出したのですね。

**東條** 同志社で学んだ後、自身の進むべき道を求めて彷徨していた軍平は、岡山県で孤児救済事業に取り組んでいた石井十次が運営する岡山孤児院で働きます。これが軍平を救世軍へ導く運命の糸になるのです。ある日、石井から託された手紙を救世軍に届けます。その時に手渡された本を読んで救世軍に入ることを決意します。その本には「救世軍が愛の主

義によって活動する」と書かれていました。信仰による救済の前に、実生活を救おうとする救世軍は軍平にとって理想的な活動の場でした。我が意を得た軍平は、自分の目の前の人々を救おうと様々な行動を起こします。当時の農村は貧しく、災害や飢饉が起こると多くの少女が娼家に売られました。そう言った少女たちを救おうと行動を起こします。ただ、それは単なる慈善事業とは異なり遊郭側の暴力との戦いでもありました。まさに命がけです。これは社会福祉という言葉には収まらない、軍平の愛と情熱を表しています。映画では



特にこの部分に焦点を当て、彼の熱い思いを描こうとしました。

ちになること、安定した暮らしや高い社会的な地位などを夢に求めがちですが、軍平の夢は違いました。人のために役に立つ人になりたい、人の笑顔が自分の喜びである、そのような生き方も素敵なきり方だなど、私は強く感じました。そしてその彼の人生の熱さを感じていただければと思います。また、同志社大学には軍平がいた当時の校舎が残っています。幸運なことに、同志社大学に協力していただき、着物を着ていた当時の同志社の学生がキャンパスを歩いていた当時の同志社を撮影することができました。新島先生がいた頃の明治の同志社の雰囲気は是非観ていただけたらと思います。また、同志社グリークラブにも出演していただき、歌声もキャンパス内で響き渡っています。

**服部** 映画の世界を目指された契機などを教えてください。

**東條** 映画にのめり込むようになったのは、大学3年次生の頃、京都のみなみ会館が企画した監督特集で溝口健二監督の作品を観て、衝撃を受けたのがきっかけです。それから京都

文化博物館のフィルムシアターに通い、日本映画の古い作品を夢中で観ました。特に1930年代と1950年代の日本映画の名作には圧倒されました。大学卒業後はKYOTO映画塾のディレクターコースに入り、1996年(平成8年)に映画『ピーター・グリーンナウェイの枕草子』に制作スタッフとして参加し、これを機に映画界に入りました。

**服部** 助監督の時代に、心に深く刻んだ教えはありましたか。

**東條** 三池崇史監督、堤幸彦監督、柳町光男監督などの作品に助監督として携わりました。いずれも、個性際立つ卓越した監督であり、多くの学びを得ることができました。特に心に残っているのは、堤幸彦監督の一言です。広末涼子さんと松田龍平さんが主演の映画『恋愛写真』の仕事をした時、「助監督、辞めたら?」と言われたんです。広末さんが手にメモを書いているという設定で、その内容を考えるのは僕の仕事だったんですが、授業の休講とか、学校のレポートの締め切りとかそんなことを提案しました。そしたら、「お前、助監督、辞めたら?それ面白いと思ってやってるの」と言われたんです。仕事としてではなく、表現者として仕事をしていなかったなと痛感しました。その後、『トリック』でも助監督をして色々面白いネタを作品に仕込んだと思いますので、その反省は生かされたと思っています(笑)。

## 新島襄が創立した同志社で学べたことは私の誇り

**服部** 初監督作品や今後の映画製作について聞かせてください。

**東條** 2006年(平成18年)に撮った映画『9/10 ジュウブンノキユウ』が初監督作品です。同窓会で7年ぶりに再会した高校野球部員9人の記憶の空白の謎を彼らの会話を軸に探っていくシチュエーション・ミステリーです。同窓会の会場の一室での会話を描く映画なので、人が喋っているだけの映画にならないように、登場人物9人の感

情の動きなどを緻密に組み立てて、非常に苦労して撮影しました。現在も作品の構想は何本かあり、どの企画が実現するかはまだわかりませんが、この作品を作ったことがきっかけで私の映画作りへの思いも少し変わったように思います。これまでも増して一作一作に心血を注ぎ、映画への思いを結実させたいと考えています。

**服部** 同志社大学での学びの日々は大きな糧になっていますか。

**東條** 私たちの暮らしに大きく影響を及ぼす社会の仕組みに強い関心を持ち、文学部社会学科に入学しました。大学2年次生の時に哲学科の先生に読書会に誘われ、毎週、哲学書を一章ずつ集まって読んでいたんですが、それをきっかけに色々な人たちと読書会をして議論したりするようになり、大変だったのですが、大きな財産になっていると思います。

体育会柔道部も僕にとっては大きな財産です。現役でいた時はわからなかったのですが、卒業して、みんなそれぞれ考え方や生き方が違っていても、ただ同志社で柔道を一緒に練習していたというだけで、先輩や後輩を含めて同じ仲間であるという気持ちが持てて、なぜか心を許せる関係なんです。そのことを不思議に感じますし、感謝しています。私は映画を作るときに人と人との繋が

りや思いというところを強く考えますが、それは学生時代のことが生きているのかもしれませんが。同志社といえば新島先生なのですが、学生時代は新島先生について学ぼうとはしませんでした。今回、この映画を作ることがきっかけとなり、新島先生の本を読み、すごい人なんだとその情熱的な生き方に感銘しました。この映画作りを通じて、同志社の精神である「良心」について考える機会を持てたことに非常に感謝しております。新島先生の同志社で学んだことに今更ながら強い誇りを持っております。

## 映画公開情報



- 新宿武蔵野館(東京) 10月21日(土)より
- シネマ・クレール丸の内(岡山) 10月21日(土)より
- 京都みなみ会館(京都) 11月11日(土)より
- 第七藝術劇場(大阪) 未定

## インタビューを終えて

在学生の全員に観てほしい作品です。  
東條監督を通じて映画のすごさを知りました

今回の作品に私が所属している同志社グリーンクラブが特別出演することが決まった時は驚嘆しました。私自身は試験日と撮影日が重なり、残念ながら出ることはできませんでしたが、クラブ内の調整を行い、出演したメンバーは本当に感激していました。社会福祉活動に生涯を捧げた山室軍平が同志社の大先輩であることに、改めて大きな誇りを感じています。在学生全員に観てほしい映画であり、このような素晴らしい作品を手がけられた東條監督に直接お話を聞きたことも、忘れられない思い出になりました。映画づくりに精魂を傾けておられる姿に、果敢に挑み続けることの大切さを学びました。



インタビューー 服部 祥亮 さん  
【理工学部機械システム工学科4年次生】

# テンプスタッフ

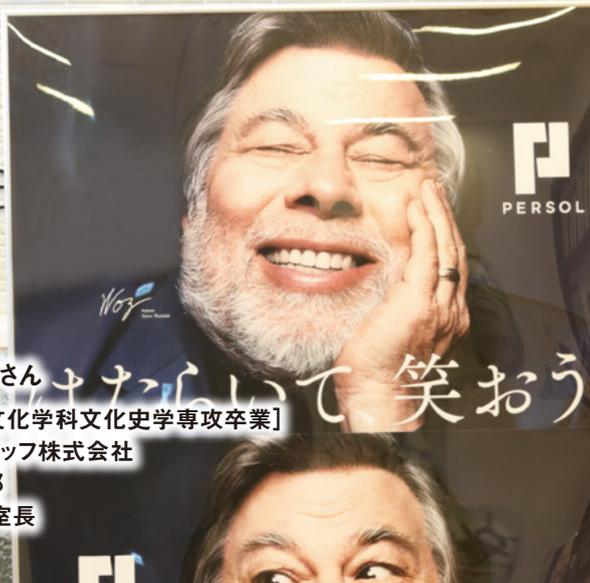
# My My

## 私と 「仕事」

第75回



Benesse



み たに ゆう こ  
**三谷 祐子**さん

[2003年 文学部文化学科文化史学専攻卒業]

パーソルテンプスタッフ株式会社

研究開発事業本部

大学営業推進室 室長

## 一人ひとりの仕事への思いに深く寄り添い 能力を発揮し成長できる機会をご提案したい

### One day on the job



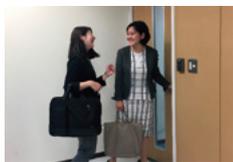
09:30

フレックスを使用し  
時間差出勤。  
メールをチェックして  
進めているPJTの進捗や  
同行依頼を確認。  
在宅勤務を行う日も。



10:30

企画中の学会参加の案を  
上司と打合せ。  
「理系学生にとって就職を  
イメージできるものを」と  
先生からご相談を受け、  
企画中。



13:30

大阪から神戸へ移動し、  
大学へ同行。  
様々なニーズがあり、  
研究職派遣の他に  
人材紹介や求人広告、  
業務委託の提案も。



15:30

この日は神戸オフィスの  
メンバーと今後の  
新規訪問の  
同行予定の調整や  
提案内容を打合せ。



18:00

神戸から自宅に  
車を取りに戻り、  
すぐに保育園へお迎え。  
ご機嫌な娘と  
話をしているうちに  
自然と家庭モードへ。

個々の実力でキャリアアップが図れる業界で思う存分仕事に挑みたい。これが就職に向けて私が望んだ選択のポイントでした。この視点で絞り込んだ時、合致したのが、数多くの女性が第一線で活躍している人材ビジネスの分野です。人材派遣・紹介事業を行っているテンプスタッフ(現・パーソルテンプスタッフ)に入社が決まり、希望がかないませんでした。当初配属されたのは事務派遣部門です。営業担当でしたが、就業されている方々をフォローする業務も同時に担うことになり、戸惑いの連続でした。就業経験のない新卒社員が実績のある年上の皆様に仕事の状況や悩みなどをお聞きし、サポートするのですから、先輩の助言が頼りであり、20代前半は「早く一人前になりたい!」と思い続けていました。このような経験を経て、27歳の時にマネージャーに登用されました。まだ年齢も若く、初めての管理職なので、肩にすぐく力が入っており、脇目も振らず目標達成に邁進しました。際立つ成果を上げて、認めてもらいたかったのです。

「人の価値は仕事の成果で決まる」と考えていた私に、大きな変化をもたらしてくれたのは、30代になって授かつ

た娘でした。「赤ちゃんは自身では何もできないけれど、周りの人々に喜びや癒しを与えている」ということに気づき、結果だけが全てではなく、誰にでもかけがえのない価値があることを実感したのです。これを機に、仕事にもゆとりが生まれ、誰もが最大限に能力を発揮するためには、どうすれば良いのかといったことにも思いを馳せるようになりました。現在は大学や研究所を対象に、理系専門職の人材派遣・受託の事業認知を推進する業務を担当しています。例えば、研究開発が活発で人手不足の再生医療の分野へ弊社の理系専門職の社員を派遣する事業も行っています。事務職から細胞培養技術者へ転身し、iPS細胞の研究を支えている主婦もいます。パーソルグループでは「人と組織の成長創造インフラへ」というグループビジョンを掲げ、働く人々に様々な成長の機会をご提供し、組織の伸展に貢献したいと考えています。私たちはグループ全体で成長と安定につながる多様な働き方のご提案ができます。これによって「一人ひとりの仕事への思いに深く寄り添い、ともに歩むことができれば」と願っています。

# Job, Life

学生時代からの夢を追い続け、多彩な分野で活躍する卒業生を訪ね仕事に挑む熱い思い、今後の目標などをインタビュー。その姿が学生の皆さんの将来のキャリア・プランに役立てば幸いです。

# DAIKIN

やま だ ゆう じ  
**山田 裕志**さん

[2014年 理工学研究科  
数理環境科学専攻修了]  
ダイキン工業株式会社 堺製作所  
空調生産本部 商品開発グループ



## 現在、北米商品開発グループで空調の室外機を担当 商品開発の全分野に挑みたい

大学進学前から環境の分野に関心があり、大学進学にあたり、同志社大学理工学部環境システム学科を選びました。当時、地球温暖化をテーマにしたアメリカのドキュメンタリー映画『不都合な真実』が世界的に注目されるなど、環境保全への関心が特に高まっていたことも学科選択の契機になりました。当初は学部卒での就職を考えていたのですが、4年次生の時に実社会でのキャリア経験のある盛満正嗣教授の研究室で「新たな視点からより深く環境を捉える」ということの大切さを学び、さらに理工学研究科数理環境科学専攻で電気化学を探究することにしました。ダイキン工業を志望したのは、専門領域の中でも省エネ、消費電力の削減を中心に研究していたので、その延長線上で環境インフラ分野の仕事に就きたいと思っていたからです。「空気は最高のインフラ」であり、グローバル空調総合メーカーのダイキン工業は希望に最も近い企業でした。

2014年に入社し、配属は5月の時点で空調生産本部商品開発グループでしたが、1年目は研修のために各部署で様々な業務を経験しました。2年目から本格的に商品開発に携わり、現在は北

米向けの商品開発グループで空調の室外機の開発に取り組んでいます。例えば、世界の別地域で高評価の商品を北米市場とマッチングさせるには何をどのように変更、刷新するかといった課題を、マーケティング部門や営業から提示される基本資料を踏まえながら検討します。具体的には構造、性能、信頼性制御の3方向から熟考し、試行を繰り返しながら一つずつクリアしていくわけです。私が担当しているのは信頼性面です。自分の検討・計算結果の目論見通りの試験結果を得た時は、大きなやりがいを感じます。

仕事をする上で最も大切にしているのは、商品開発のプロセスの中で様々な指摘がありますが、「最後には自分の意志を結実させる」ことです。これを厳守することによって職責を全うすることができると考えているからです。また、限られた期間の中で異なる数多くの意向を汲み取り、最上の着地点を見出すのも非常に難しいのですが、常に全力を注ぎ、ベストを追求しています。直近の目標は30歳までに、商品開発でまだ手掛けない構造、性能の分野も担えるようになることです。それができれば、次のステップに踏み出せると思っています。

### One day on the job



08:30

アメリカと電話会議。文化や考え方が異なる為、メールだけでなく電話で情報を正確に共有する必要があります。



10:00

現地現物確認。図面だけでなく、実際のモノを自分の目で見ることを心がけています。



11:00

打合せ。自分の検討・目論見結果について説明し、試験内容を整理します。



14:00

試験中。理論だけでなく、実際のような試験結果になっているのかいち早く情報を入手する為、試験室に行くこともあります。



16:00

再検討。理論に基づいた検討と試験結果の差異について原因分析し、改善案を考えます。

## 応援に行こう! 体育会試合日程

### 【アーチェリー部】

- 10月7日(土)・8日(日) 第30回全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会  
佐伯国際アーチェリーランド(広島県)
- 10月29日(日) 第55回関西学生アーチェリー新人戦  
服部緑地陸上競技場(大阪府)
- 11月18日(土)・19日(日)  
第22回関西学生アーチェリーインドア選手権大会 予選 近畿大学(大阪府)
- 12月2日(土)・3日(日)  
第22回関西学生アーチェリーインドア選手権大会 決勝 近畿大学(大阪府)

### 【アイスホッケー部】

- 12月25日(月)～29日(金) 第90回日本学生氷上競技選手権大会  
青森県八戸市

### 【アメリカンフットボール部】

#### 2017関西学生アメリカンフットボールリーグ

- 10月7日(土) 宝が池公園球技場(京都府) 12:00～ 対戦相手:龍谷大学
- 10月21日(土) 西京極陸上競技場(京都府) 12:00～ 対戦相手:京都大学
- 11月4日(土) EXPO FLASH FIELD(大阪府) 12:00～ 対戦相手:甲南大学
- 11月18日(土) EXPO FLASH FIELD(大阪府) 11:00～ 対戦相手:桃山学院大学

### 【バドミントン部】

- 10月20日(金)～26日(木)  
秩父宮・秩父宮妃杯争奪 第68回全日本学生バドミントン選手権大会  
一宮市総合体育館(愛知県)

### 【馬術部】

- 10月30日(月)～11月7日(火)  
第67回全日本学生賞典障害馬術競技大会・第60回全日本学生賞典総合馬術競技大会  
三木ホースランドパーク(兵庫県)

### 【バレーボール部男子】

- 10月1日(日)・8日(日)・15日(日)・22日(日)  
2017年度関西大学バレーボール連盟男子1部秋季リーグ戦

### 【ボードセーリング部】

- 10月7日(土)・8日(日) テクノ全日本選手権大会  
試合会場未定 10:00～(天候によって変動あり)
- 11月12日(日)～16日(木) 全日本学生ボードセーリング選手権  
オクマビーチ(沖縄県) 10:00～(天候によって変動あり)
- 11月25日(土)・26日(日) 関西選手権第三戦  
甲子園浜(兵庫県) 10:00～(天候によって変動あり)
- 12月2日(土)・3日(日) 関西新人戦第三戦  
佐波江(滋賀県) 10:00～(天候によって変動あり)

### 【ボート部】

- 10月6日(金)～9日(月・祝)  
第72回国民体育大会ボート競技 玉川湖ボートコース(愛媛県)
- 10月7日(土) 第16回びわ湖あいつぶりレガッタ  
滋賀県立琵琶湖漕艇場 8:30～16:00
- 10月15日(日) 第52回京都レガッタ 滋賀県立琵琶湖漕艇場
- 10月26日(木)～29日(日)  
第95回全日本選手権大会 戸田ボートコース(埼玉県)
- 11月3日(金・祝)～5日(日)  
第28回関西学生秋季選手権大会 加古川市立漕艇センター(兵庫県)
- 11月10日(金)～12日(日)  
第58回全日本新人選手権大会 戸田ボートコース(埼玉県)

### 【ボウリング部】

- 10月7日(土) 関西学生ボウリング選手権 ボウリングスペースhit
- 10月8日(日) 関西学生ボウリング選手権 ボウリングスペースhit
- 10月20日(金) 関西学生ボウリング選手権 MKボウル上賀茂
- 10月21日(土) 関西学生ボウリング選手権 しょうざんボウル
- 10月28日(土) 関西学生ボウリング選手権 しょうざんボウル

### 【フェンシング部】

- 11月13日(月)～17日(金)  
第57回全日本学生個人選手権大会・第67回全日本大学対抗選手権大会  
駒沢オリンピック公園総合体育館(東京都)

### 【フィギュアスケート部】

- 10月6日(金)～9日(月・祝) 近畿フィギュアスケート選手権大会  
尼崎スポーツの森(兵庫県)
- 10月14日(土)・15日(日) 第11回西日本学生選手権  
大阪府立臨海スポーツセンター(大阪府)

- 11月2日(木)～5日(日) 第43回西日本フィギュアスケート選手権大会  
アクション福岡(福岡県)
- 12月20日(水)～24日(日) 第86回全日本フィギュアスケート選手権大会  
武蔵野の森総合スポーツプラザ(東京都)

### 【居合道部】

- 11月19日(日) 第28回西日本学生居合道選手権大会  
同志社大学デヴィス記念館
- 12月10日(日) 第32回全日本学生居合道演武大会  
浦安市運動公園総合体育館(千葉県)

### 【自動車部】

- 10月29日(日) 第2回全関西学生ダートトライアル選手権大会  
オートパーク今庄(福井県)

### 【柔道部】

- 10月28日(土)・29日(日) 平成29年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会  
ベイコム総合体育館(兵庫県)
- 11月11日(土)・12日(日) 平成29年度講道館杯・全日本柔道体重別選手権大会  
千葉ポートアリーナ(千葉県)
- 12月3日(日) 第61回京都学生柔道段別体重別選手権・第32回京都学生女子柔道体重別選手権大会 9:30～

### 【空手道部】

- 10月1日(日) 第60回全関西大学空手道選手権大会 大阪商業大学
- 11月19日(日) 第61回全日本大学空手道選手権大会 日本武道館(東京都)

### 【剣道部】

- 10月29日(日) 第65回全日本学生剣道優勝大会(団体) 日本武道館 9:00～
- 11月12日(日) 第36回全日本女子学生剣道優勝大会 春日井市総合体育館 9:00～
- 11月26日(日) 第30回関西学生剣道新人大会 近畿大学記念館 9:00～

### 【航空部】

- 9月25日(月)～9月30日(土) 第20回全日本学生グライダー新人競技大会  
岐阜県木曽川滑空場
- 10月21日(土)～27日(金) 第14回関西立対抗グライダー競技会  
岐阜県大野グライダー滑空場
- 10月28日(土)～11月5日(日) 第37回東海・関西学生グライダー競技会  
岐阜県大野グライダー滑空場

### 【硬式野球部】

#### 平成29年度関西学生野球連盟秋季リーグ戦

- 10月14日(土) ほっともっとフィールド神戸(兵庫県) 10:30～ 対戦相手:関西学院大学
- 10月15日(日) ほっともっとフィールド神戸(兵庫県) 13:00～ 対戦相手:関西学院大学
- 10月21日(土) わかさスタジアム京都 13:30～ 対戦相手:立命館大学
- 10月22日(日) わかさスタジアム京都 13:30～ 対戦相手:立命館大学

### 【ラグビー部】

#### 関西大学ラグビーAリーグ

- 10月14日(土) 宝が池公園球技場(京都府) 14:00～ 対戦相手:立命館大学
- 10月22日(日) 皇子山総合運動公園陸上競技場(滋賀県) 14:20～ 対戦相手:関西大学
- 10月28日(土) 宝が池公園球技場(京都府) 14:00～ 対戦相手:摂南大学
- 11月5日(日) 鶴見緑地球技場(大阪府) 12:00～ 対戦相手:京都産業大学
- 11月19日(日) 鶴見緑地球技場(大阪府) 14:00～ 対戦相手:近畿大学
- 11月25日(土) 西京極陸上競技場(京都府) 14:00～ 対戦相手:天理大学

### 【レスリング部】

- 10月27日(金)～29日(日) 西日本学生レスリング選手権大会  
堺市金岡公園体育館(大阪府)
- 11月11日(土)・12日(日) 内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権大会  
おおい町総合運動公園体育館(福井県)
- 12月9日(土)・10日(日) 西日本学生レスリング秋季リーグ戦  
堺市金岡公園体育館(大阪府)
- 12月20日(水)～23日(土・祝) 天皇杯全日本選手権  
駒沢体育館(東京都)

### 【サッカー部】

#### 2017年度 第95回関西学生サッカーリーグ後期2部A

- 10月1日(日) 第2節 同志社大学京田辺グラウンド 12:00～ 対戦相手:龍谷大学
- 10月8日(日) 第3節 流通科学大学人工芝グラウンド 13:00～ 対戦相手:流通科学大学
- 10月15日(日) 第4節 大阪大学吹田グラウンド 14:15～ 対戦相手:関西国際大学
- 10月22日(日) 第5節 大阪教育大学柏原グラウンド 15:15～ 対戦相手:天理大学
- 10月29日(日) 第6節 甲南大学南インフィールドグラウンド 14:00～ 対戦相手:甲南大学
- 11月5日(日) 第7節 同志社大学京田辺グラウンド 12:00～ 対戦相手:大阪商業大学
- 11月12日(日) 第8節 同志社大学京田辺グラウンド 12:00～ 対戦相手:関西福祉大学
- 11月18日(土) 第9節 同志社大学京田辺グラウンド 13:00～ 対戦相手:大阪産業大学

### 【ソフトボール部女子】

- 10月1日(日)・7日(土)・8日(日) 秋季リーグ戦

### 【水泳部】

- 11月14日(火)・15日(水) 第59回日本選手権(25m)水泳競技大会  
兼FINAスイミングワールドカップ2017東京大会  
東京辰巳国際水泳場
- 12月2日(土)・3日(日) 第11回関西学生冬季公認記録会  
京都アクアリーナ

### 【相撲部】

- 11月4日(土)・5日(日) 第95回全国学生相撲選手権大会  
堺市大浜公園相撲場(大阪府) 9:00～

### 【射撃部】

- 10月19日(木)～22日(日) 第64回全日本学生スポーツ射撃選手権大会(男子)・第30回全日本学生スポーツ射撃選手権大会(女子)  
能勢町国体記念スポーツセンター(大阪府)
- 11月4日(土)・5日(日)  
第43回全関西学生ライフル射撃新人戦・第9回秋季全関西学生エアピストル射撃記録会・第7回秋季全関西学生デジタルスポーツピストル射撃記録会  
能勢町国体記念スポーツセンター(大阪府)

### 【卓球部男子】

- 10月26日(木)～29日(日)  
第84回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部) 所沢市民体育館(埼玉県)

### 【ヨット部】

- 10月31日(火)～11月5日(日)  
第82回全日本学生ヨット選手権大会 若狭和田マリーナ(福井県)

### 【トライアスロン部】

- 10月15日(日) 第23回日本トライアスロン選手権  
お台場海浜公園・臨海副都心トライアスロン特設会場(東京都)
- 10月22日(日) 日本学生スプリントトライアスロン選手権兼トライアスロン・チームタイムトライアル選手権大会 群馬県渡良瀬遊水地

## ♪観に行こう聴きに行こう♪ 一学生団体10月の活動予定一

### 【学内】

- 10月1日(日) F.B.I. 「三団体合同上映会」  
今出川 寒梅館クローバーホール 12:30～18:00(12:00開場) 無料
- 10月8日(日) マジック&ジャック Hocus-Pocus 「10月ステージ」  
今出川 寒梅館ハーディーホール 17:00～18:00(16:30開場) 無料
- 10月18日(水) 喜劇研究会 「お笑いライブ」  
今出川 寒梅館クローバーホール 12:45～14:30(12:30開場) 無料
- 10月20日(金) F.B.I. 「10月上映会」  
今出川 寒梅館クローバーホール 12:30～18:00(12:00開場) 無料
- 10月21日(土)・22日(日) 書道部 「二回生展」  
今出川 寒梅館ギャラリー  
21日(土) 11:00～17:00 無料 22日(日) 11:00～16:00 無料
- 10月22日(日) E.S.S. 「感動戦(スピーチ大会)」  
京田辺 別館 第1～5会議室 12:30～18:00(12:00開場) 無料
- 10月22日(日) 法学研究会 「常設法律相談会」  
今出川 寒梅館2A・2B・2C 13:00～16:30 無料
- 10月23日(月)～27日(金) 卒業アルバム委員会  
「卒業アルバム個人・ゼミ・サークル撮影」  
京田辺 多目的ホールラウンジ 10:30～18:00 無料
- 10月25日(水)喜劇研究会 「お笑いライブ」  
今出川 寒梅館クローバーホール 12:45～15:00予定(12:30開場) 無料
- 10月26日(木) 同志社大学学生保健部会 「献血」  
京田辺 ローム記念館前良心碑北側 10:00～16:40 無料
- 10月27日(金) 同志社大学学生保健部会 「献血」  
今出川 明德館横(図書館側) 11:30～16:30 無料

## 同志社クローバー祭

11月4日・5日の2日間、同志社クローバー祭を開催します。学生と地域の皆さまが広く交流し一体となって盛り上がる、活気あふれるお祭を目指しています。期間中は、プロのアーティストによる演奏(無料)の他、模擬店、学生による企画や各学部による体験コーナー、東日本大震災復興支援として福島県との親交企画なども開催いたします。京田辺キャンパスでのお祭は今年で13年目を迎えます。これからも発展し続けていく同志社クローバー祭に、ぜひお越しください。お待ちしております。

【日程】 11月4日(土)・5日(日) 【場所】 京田辺キャンパス

【お問い合わせ先】 同志社クローバー祭実行スタッフ TEL : 0774-65-7832

## bふらっとプログラム



【会場】 京田辺キャンパス ローム記念館内 劇場空間 【料金】 無料

●10月13日(金) 短編アニメーション上映『水江未来 短編作品』

●12月1日(金) のごぎりミュージックコンサート「安藤玲子」

※内容・時間は決まり次第HP等でお知らせいたします。

【お問い合わせ先】 京田辺校地学生支援課 TEL : 0774-65-7413

## 同志社創立142周年記念リユニオン 同志社大学ホームカミングデー 2017

ホームカミングデーならびにリユニオンを下記の通り開催いたします。卒業生の皆さまに母校で過ごしていただくとともに、思い出のあるキャンパスで、懐かしい友人や教員と旧交を温めながら、同志社大学の「今」を感じていただく1日にしたいと考えております。ぜひ、お越しください。

【日時】 11月12日(日) 10:00～16:30 【会場】 今出川校地

※開会式\*

【時間】 10:00～(終了後、大集合写真撮影) 【会場】 栄光館(同志社女子大学構内)  
学長講演、交流レセプション、野点などたくさんのプログラムをご用意しております。詳しくはホームカミングデーホームページ、Facebookをご覧ください。

【お問い合わせ先】 校友課 TEL : 075-251-3009

E-mail : ji-doo@mail.doshisha.ac.jp

## 第142回 同志社EVE

同志社創立142周年を記念して、今年も今出川校地を中心に同志社EVEを開催します。日頃の学生生活・クラブ活動等で培ってきた技術をアピールする場として、学生・教職員・卒業生・地域住民の一体感を生み出す場として講演会や演劇、演奏会等を行い、今出川キャンパス全体が生き生きとした笑顔と活気に包まれます。

【日程】 EVE期間 11月1日(水)～28日(火) 出店期間 11月26日(日)～28日(火)

【場所】 今出川校地

【お問い合わせ先】 第142回全学EVE実行委員会 TEL : 075-251-4452

## WOT(ワット)



開講期間中、寒梅館ハーディーホールにて、映画上映やコンサートなど様々なプログラムを開催します。

【会場】 寒梅館ハーディーホール

【料金】 本学学生・教職員はすべて無料

●10月12日(木) イヴォンヌ・レイナー監督『特権』上映+ゲストによるトーク  
18:00開場/18:30開演

●10月19日(木) 《中村敦夫 ひとり語り～朗読劇「線量計が鳴る」》  
18:00開場/18:30開演 当日2,000円(前売1,500円\*チケットびあ、セブン-イレブン、サークルKサンクスにて販売)

●10月26日(木) 映画上映『永い言い訳』10:45/15:00/18:30

2016年/日本/124分/監督:西川美和/出演:本木雅弘 ほか

【お問い合わせ先】 今出川校地学生支援課 TEL : 075-251-3270

※内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

※11月以降も毎週木曜日、映画上映などの催しを予定しています。

詳細はお問い合わせください。

## クローバーシアター



開講期間中、寒梅館クローバーホールでは、映画・音楽・アートなど先鋭的なプログラムを開催します。

【会場】 寒梅館クローバーホール(地階)

【料金】 本学学生・教職員はすべて無料

●10月3日(火) 映画上映&トーク《エリック・ロメール特集》\*詳細未定

●10月17日(火) 映画上映\*詳細未定

●10月24日(火) 映画上映\*詳細未定

●10月31日(火) 映画上映&トーク《ドイツ映画特集》\*詳細未定

【お問い合わせ先】 今出川校地学生支援課 TEL : 075-251-3270

※内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

※11月以降も毎週火曜日、映画上映などの催しを予定しています。

詳細はお問い合わせください。

COVER INTERVIEW My Purpose 挑戦する人

## 平安貴族の典雅な祭礼を、 時を越えて受け継ぐ 葵祭・第62代齋王代として脚光を浴びる

葵祭は上賀茂(賀茂別雷)神社と下鴨(賀茂御祖)神社の大祭であり、祇園祭、時代祭とともに京都の三大祭として名高い。欽明天皇の時代に災害と凶作に見舞われたために、五穀豊穰を祈願したのが起源とされている。『源氏物語』に記された齋王列見物における葵の上と六条御息所の争いの描写などでも、往時の典雅な祭儀の姿を垣間見ることができる。古来、賀茂祭とも称されてきたが、祭事に葵の葉をかざしたところから葵祭と呼ばれるようになった。葵祭の前儀としては、祭礼の無事を祈願する勇壮な流鏑馬神事、齋王代や女人列に奉仕する女性が身を清める御禊神事、荒御霊を迎える御蔭祭などが執り行われる。齋王とは朝廷を代表して神に仕える女性のことで、かつては未婚の内親王、王女が務めた。鎌倉時代に途絶えた齋王は、戦後の1956年に齋王代として復活し、京都在住の未婚の女性の中から毎年選ばれている。

「葵祭行列保存会から連絡をいただいた時は、一瞬絶句するほど驚きました。実は以前、姉が葵祭に参加しており、その姿に憧れていました。『いつか私も女人列に出たい!』と、家族の前ではしゃいでいたのを覚えています。でも、まさか齋王代に選ばれるとは、夢にも思っていないでした。一番緊張したのは齋王代発表の記者会見です。会場のホテルの控室から先頭を歩かなければならないので、重圧で足がすくむ思いでした。会見でも『どうか無事に終わって…』と祈っていました」。富田紗代さんは19歳という若さでも注目され、齋王代を含む3姉妹での参列も大きな話題になった。

齋王代の髪型は雅な趣のおすべらかしで、装束は華麗な十二単衣。化粧を含めて支度には、2時間前後を要する。

「リハーサルのようなものは一切ありません。御禊神事に関しては、記録映像を収録したDVDをご提供いただき、これを繰り返しチェックして、全ての所作を確認しました。特に水に手を浸し、身を清める時は、顔を適度に上げ、時間も少し長めにご指示を受けていたので、間違いのないように注意しました。思いのほか、水が冷たかったのを覚えています」。京都御所から下鴨神社を経て上賀茂神社まで巡行する「路頭の儀」には、落ち着いて臨むことができたという。「あなたが思う齋王代を自由に表現してもらえば」という関係者の言葉を受けて、笑顔で心がけたとふり返り、齋王代が乗る「腰輿」からは周囲がよく見え、吹き抜ける緑風も心地良かったと微笑む。

同志社大学に進学したのは、幼少の頃から仲が良く、可愛がってくれた姉2人が本学で充実した日々を過ごしていたから。5歳の時からタップダンスに打ち込んできた富田さんが同志社女子中学校1年生の時からソフトボールを始めたのも、当時、高校3年生でクラブの部長として活躍していた一番上の姉の影響だと語る。現在、自分のやりたいことを見出すために、分野を超えて幅広く知見を得ることのできる政策学部で学んでいるが、齋王代に選ばれたのを機に、日本の伝統や文化の継承に関わる勉強にも取り組んでみたいと思っている。「平安時代からの祭礼を受け継ぐ側に立って、京都の伝統文化の大切さを改めて実感しました。今年の春から茶道を習い始め、十二単衣や振袖の素晴らしさも知り、和の心にも思いを馳せるようになりました」。齋王代という貴重な経験を糧に、富田さんは、新たな一歩を踏み出そうとしている。



とみた さよ  
富田 紗代さん  
[政策学部 2年次生]